

公立大学法人

和歌山県立医科大学

教育研究開発センター

平成24年度

事業実績報告書

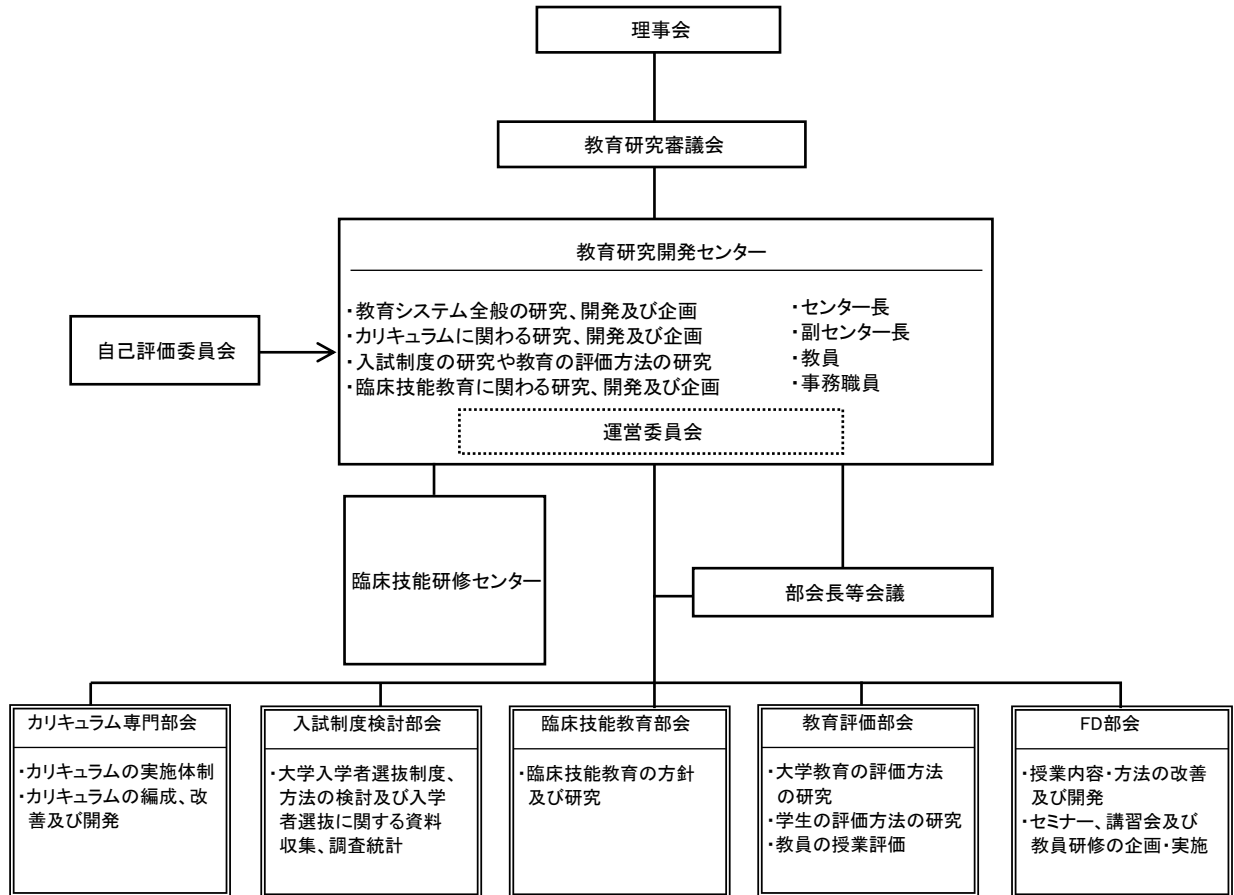


Center for  Research and Development
Educational

目 次

組織図	2
刊行にあたって	3
1. 教育研究開発センター	
(1) センター規程・要項	5
(2) 運営委員会委員	8
(3) 部会委員	8
2. 平成24年度事業実績	
(1) 医学部	
開催した部会等一覧	13
開催したFD一覧	15
和歌山SPの会	25
学生実習について	26
発行した冊子	28
日本医学教育学会総会での発表内容	29
学生自主カリキュラムの取組	32
(2) 保健看護学部	
開催した委員会一覧	37
開催したFD一覧	39
発行した冊子	41
取り組んだ事業	42
学生自主カリキュラムの取組	44
3. 臨床技能研修センター	
(1) 規程	47
(2) 利用方法	51
(3) 備品一覧	53
(4) 利用実績一覧	56
(5) 和医大臨床技能サークルの活動内容紹介	68
4. ホームページの案内	
◆ 教育研究開発センターホームページ	69
◆ 臨床技能研修センターホームページ	70

和歌山県立医科大学 教育研究開発センター組織図



平成 24 年度実績報告書の刊行にあたって

教育研究開発センター長 羽野卓三

和歌山県立医科大学教育研究開発センターは平成 24 年度で 7 年目となります。医学部においては、分野別認証に向けての情報収集と準備、学生の定員増に対応するためのカリキュラム改革を中心に事業を展開しました。

教育評価部会では分野別認証でも求められる教員の教育実績を顕彰する目的で、ベストティーチャー賞について検討しました。ベストティーチャー賞は 1 年次から 4 年次までの各学年担当者に授与する事、臨床実習に対してはベストクリニカルティーチング賞とし、診療科および個人部門を顕彰することといたしました。この規定は平成 24 年の教育内容から適応し、平成 25 年度から実施することになっております。入試制度検討部会では教育要項の変更にもなうセンター試験の科目変更に対応するための議論がなされました。また、最近の受験者の動向を踏まえ、身体に障害がある受験生および入学者への特別配慮に対して議論しました。また、県民医療卒の学生に対する推薦書の扱いについても検討しました。カリキュラム専門部会では、国際認証に対応するための課題について論議し、同部会への学生委員の参加を認めるべく規定の改訂を行いました。また、学生による診療録の記載が可能となるよう電子カルテに新たな改変を行い、H25 年度から実施できる状況となりました。臨床実習の期間については大きな改革であるため、分野別認証の日本版(案)や他学の国際評価の状況を勘案し議論を重ね、今後、正式に制定される分野別認証の日本版の発行を待って、議論を再開する事としました。同時に、講義時間、進級制度についての議論も必要であるとの認識に至りました。卒業時の成績と国家試験の成績についても検証し、大学として卒業時のコンピテンシーについても議論を深めました。臨床技能部会においては学生定員の増加に伴う CBT、OSCE への対応について議論を行いました。平成 25 年度には共用試験の受験者数が 100 名以上になることから、CBT については学生の増加に伴い全員を 1 日で対応できるように情報端末の増設について予算要求しました。さらに、OSCE については試験時間および試験会場の変更について議論し、新たな方法で行うこととしました。共用試験などの対応に必要な SP については不足が想定されることから再募集し 20 名が対応できるように研修を行いました。FD については例年通り 4 回開催しました。その内、3 回については国際認証に対応したものとしました。臨床実習のあり方については、東京医科歯科大学の田中雄二郎教授の講演および海外での臨床実習を経験した学生の講演を含めグループワークを行いました。また、本邦で最初に外部評価を受ける東京女子医科大学の吉岡教授に講演をいただき、国際認証の仕組みおよび具体的な評価の方法について情報を共有いたしました。最後に国際認証に対応するための教養教育について、本学と同じ公立単科大学である札幌医科大学の相馬教授から札幌医科大学での改革の計画を提示して頂きました。

保健看護学部においては、入試制度検討部会では平成 27 年度入試におけるセンター入試

について検討を行いました。FD 部会では、教員相互授業参観や FD のあり方について議論を行い、6 回の FD と 4 回の FD 特別講義を実施いたしました。内容としては看護研究についてとがん看護専門看護師の活動、マネジメントの視点から FD を考える、臨床と教育、医療系大学の教養教育などが主なテーマでした。本年度は第 4 回和歌山県立医科大学保健看護学会を開催しました。「連携、研鑽、飛躍」をテーマとし、「暮らしを支えるケア」についてのシンポジウムを行いました。自主カリキュラムについては 5 題が採択され、三葛地域での健康教室、紀南地域での災害支援、東日本大震災でのボランティア活動、院内でのタッチパネルの感染状況の調査など多岐にわたる活動がなされました。

本年度は、分野別認証への取り組みなど教育改革の節目にあたり、多くの議論、準備が必要でした。来年度以降、全国的にも国際化の動きが加速されることから対応を誤ることなく、本学の Identity を損なうことなく議論を行っていきたいと思います。

和歌山県立医科大学教育研究開発センター規程

制 定 平成 18 年 4 月 1 日 和医大規程第 1 4 号

最終改正 平成 22 年 2 月 23 日

(趣旨)

第 1 条 この規程は、和歌山県立医科大学組織運営規則（平成 1 8 年 4 月 1 日和医大規則第 4 号。）第 1 9 条の規定に基づき、和歌山県立医科大学教育研究開発センター（以下「センター」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第 2 条 センターは、和歌山県立医科大学（以下「本学」という。）における医学・保健看護学教育の研究，開発，企画及び評価方法の研究並びに入試制度の研究を行うことにより、本学の医学・保健看護学教育活動の円滑な推進と不断の改善に寄与することを目的とする。

(自己評価等)

第 3 条 センターは、和歌山県立医科大学学則（平成 1 8 年和歌山県立医科大学規則第 1 号。）第 2 条の定めるところにより、センターに係る点検及び評価（以下「自己評価」という。）を行い、その結果を公表する。

- 2 前項の自己評価については、本学の職員以外を含めた者による検証を受けるよう努めるものとする。
- 3 第 1 項の自己評価を行うため、和歌山県立医科大学教育研究開発センター自己評価委員会（以下「自己評価委員会」という。）を置く。
- 4 自己評価委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(教育研究等の状況の公表)

第 4 条 センターは、センターの教育研究及び組織運営の状況について、定期的に公表する。

(業務)

第 5 条 センターにおいては、次の各号に掲げる業務を行う。

- 一 医学・保健看護学教育システム全般に関わる研究，開発及び企画
- 二 医学・保健看護学教育の内容・方法及び授業改善（F D）に関わる研究，開発及び企画
- 三 医学・保健看護学教育のカリキュラムに関わる研究，開発及び企画
- 四 医学・保健看護学教育の臨床技能教育に関わる研究，開発及び企画
- 五 医学・保健看護学教育の評価方法の研究
- 六 入試制度の研究
- 七 その他センターの目的を達成するため、必要な事項

(部会)

第6条 センターに次の各号に掲げる部会を置く。

- 一 カリキュラム専門部会
- 二 入試制度検討部会
- 三 臨床技能教育部会
- 四 教育評価部会
- 五 FD部会

2 部会に関し必要な事項は、別に定める。

(職員)

第7条 センターに次の各号に掲げる職員を置く。

- 一 センター長
- 二 副センター長
- 三 本学の専任教員のうちから学長がセンターに兼ねて勤務を命じた者
- 四 その他必要な職員

2 前項第2号から第4号までの職員は、センター長の命を受け、センターの業務に従事する。

3 第1項第3号の職員が兼ねて勤務を命令される期間は、2年とし、再び命ずることができる。ただし、欠員を生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(センター長)

第8条 センター長は、教育研究開発センター専任教授をもって充てる。

2 センター長の任期は、当該センター長の専任教授としての任期とする。

3 センター長は、センターに関する事項を掌理する。

(副センター長)

第9条 副センター長は、本学の専任教員のうちから、センター長が命ずる。

2 副センター長は、センター長の業務を補佐し、センター長に事故があるときは、その職務を代理する。

3 副センター長の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員を生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(運営委員会)

第10条 センターに、和歌山県立医科大学教育研究開発センター運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置き、センターの教育又は研究に関する重要事項を審議させる。

2 運営委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(庶務等)

第11条 センターの庶務は、事務局学生課において処理する。

(雑則)

第12条 この規程に定めるもののほか、センターに関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

和歌山県立医科大学教育研究開発センター部会長等会議運営要項

制 定 平成18年7月1日 和医大教研開セ要項第1号
最終改正 平成22年4月1日

(趣旨)

第1条 この要項は、和歌山県立医科大学教育研究開発センター運営委員会規程（平成18年和医大規程第15号）第7条第2項の規定に基づき、部会長等会議の組織、運営等に関し、必要な事項を定めるものとする。

(部会長等会議)

第2条 部会長等会議は、次の各号に掲げる者で組織する。

一 センター長

二 各部会長

三 その他センター長が必要と認めた運営委員会委員

2 センター長は、部会長等会議を招集し、その議長となる。

3 部会長等会議は、運営委員会の要請に基づき、各部会相互に連携または調整が必要とされる事項及び特定の審議事項を審議する。

(要項の改廃等)

第3条 この要項に疑義が生じた場合の解釈及び改廃は、センター運営委員会において行う。

(庶務等)

第4条 この要項に関する庶務は、事務局学生課において処理する。

附 則

この要項は、平成18年7月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成22年4月1日から施行する。

教育研究開発センター運営委員会委員

(平成24年度)

議長	羽野 卓三	教育研究開発センター長
委員	宮下 和久	医学部長
委員	山田 和子	保健看護学部長
委員	篠崎 和弘	学生部長
委員	岩橋 秀夫	入試・教育センター長
委員	塩崎 望	事務局長
委員	岡村 吉隆	病院長

センター部会委員

(平成24年度)

◆ カリキュラム専門部会

部会長	羽野 卓三	教育研究開発センター長
副部会長	山田 和子	保健看護学部長
医学部委員	羽野 卓三	教育研究開発センター長
	岩橋 秀夫	教養・医学教育大講座 教授
	池田 裕明	教養・医学教育大講座 教授
	鶴尾 吉宏	解剖学第一教室 教授
	村垣 泰光	病理学第一教室 教授
	赤阪 隆史	内科学第四教室 教授
	・田 宗人	整形外科学教室 教授
	中尾 直之	脳神経外科学教室 教授
	佐々木 秀行	内科学第一教室 准教授
	上野 雅巳	卒後臨床研修センター長
保健看護学部委員	山田 和子	保健看護学部長
	志波 充	保健看護学部 教授
	有田 幹雄	保健看護学部 教授
	飯田 美代子	保健看護学部 教授
	石村 由利子	保健看護学部 教授
	内海 みよ子	保健看護学部 教授
	水主 千鶴子	保健看護学部 教授
	西村 賀子	保健看護学部 教授

森岡 郁晴	保健看護学部	教授
柳川 敏彦	保健看護学部	教授
岩原 昭彦	保健看護学部	准教授
水田 真由美	保健看護学部	准教授
宮井 信行	保健看護学部	准教授
宮嶋 正子	保健看護学部	准教授
辻 あさみ	保健看護学部	講師

◆ 臨床技能教育部会

部会長

羽野 卓三

教育研究開発センター長

副部会長

山田 和子

保健看護学部長

医学部委員

OSCE 部会

羽野 卓三

教育研究開発センター長

加藤 順

内科学第二教室 准教授

今西 敏雄

内科学第四教室 准教授

谷 眞至

外科学第二教室 准教授

村田 顕也

神経内科学教室 准教授

柑本 康夫

泌尿器科学教室 准教授

中尾 大成

救急・集中治療医学教室 准教授

古田 浩人

内科学第一教室 講師

宮本 武

眼科学教室 講師

CBT 部会

羽野 卓三

教育研究開発センター長

鶴尾 吉宏

解剖学第一教室 教授

村垣 泰光

病理学第一教室 教授

竹下 達也

公衆衛生学教室 教授

篠崎 和弘

神経精神医学教室 教授

入江 真行

医学医療情報研究部 准教授

西 理宏

病態栄養治療部 准教授

尾浦 正二

外科学第一教室 准教授

水本 一弘

麻酔科学教室 准教授

保健看護学部委員

山田 和子

保健看護学部長

志波 充

保健看護学部 教授

水田 真由美

保健看護学部 准教授

◆ FD 部会

部会長	山田 和子	保健看護学部長
副部会長	鶴尾 吉宏	解剖学第一教室 教授
医学部委員	鶴尾 吉宏	解剖学第一教室 教授
	羽野 卓三	教育研究開発センター長
	井原 義人	生化学教室 教授
	篠崎 和弘	神経精神医学教室 教授
	三家 登喜夫	臨床検査医学教室 教授
保健看護学部委員	山田 和子	保健看護学部長
	内海 みよ子	保健看護学部 教授
	石村 由利子	保健看護学部 教授
	上松 右二	保健看護学部 教授
	水田 真由美	保健看護学部 准教授

◆ 入試制度検討部会

部会長	山田 和子	保健看護学部長
副部会長	羽野 卓三	教育研究開発センター長
医学部委員	羽野 卓三	教育研究開発センター長
	藪内 昭男	教養・医学教育大講座 教授
	岩橋 秀夫	教養・医学教育大講座 教授
	仙波 恵美子	解剖学第二教室 教授
	岸岡 史郎	薬理学教室 教授
	竹下 達也	公衆衛生学教室 教授
	篠崎 和弘	神経精神医学教室 教授
保健看護学部委員	山田 和子	保健看護学部長
	志波 充	保健看護学部 教授
	有田 幹雄	保健看護学部 教授
	上松 右二	保健看護学部 教授
	西村 賀子	保健看護学部 教授
	森岡 郁晴	保健看護学部 教授
	岩橋 秀夫	教養・医学教育大講座 教授

◆ 教育評価部会

部会長	羽野 卓三	教育研究開発センター長
副部会長	山田 和子	保健看護学部長
医学部委員	羽野 卓三	教育研究開発センター長
	岩橋 秀夫	教養・医学教育大講座 教授
	赤水 尚史	内科学第一教室 教授
	村垣 泰光	病理学第一教室 教授
	篠崎 和弘	神経精神医学教室 教授
	出口 寛文	大阪医科大学 教育機構 教授
保健看護学部委員	山田 和子	保健看護学部長
	上松 右二	保健看護学部 教授
	森岡 郁晴	保健看護学部 教授
	鹿村 真理子	保健看護学部 教授
	池田 敬子	保健看護学部 講師
	瀧川 由美子	保健看護学部 講師
	服部 園美	保健看護学部 講師

教育研究開発センター自己評価委員会

羽野 卓三	教育研究開発センター長
宮下 和久	医学部長
山田 和子	保健看護学部長
篠崎 和弘	学生部長
岩橋 秀夫	入試・教育センター長
岡村 吉隆	病院長
出口 寛文	大阪医科大学教育機構 教授
大江 嘉幸	和歌山市教育委員会 教育長

平成24年度事業実績

医 学 部

開催した部会等一覧

教育評価部会

第1回

開催日時：平成24年9月3日（月）

議 事： ベストティーチャー賞について

第2回

開催日時：平成24年10月25日（木）

議 事： ベストティーチャー賞及びベストクリニカルティーチャー賞について

入試制度検討部会

第1回

開催日時：平成24年4月26日（木）

議 事： 1. 平成27年度大学入試センター試験科目の予告時期について
2. 身体に障害等がある場合の特別配慮について
3. 面接点について

第2回

開催日時：平成24年10月3日（水）

議 事： 一般入試の県民医療枠における校長推薦書の添付について

カリキュラム専門部会

第1回

開催日時：平成24年10月11日（木）

議 事： 1. 平成25年度カリキュラムについて
2. 電子カルテ Yahgee 学生利用について
3. グローバル化に対応した今後の対策（2023年問題）について
4. 認証問題について
5. 臨床実習のアンケート項目追加について

第2回

開催日時：平成24年11月27日（火）

議 事： 1. 電子カルテ Yahgee の運用について
2. 平成25年度教育要項について
3. 学生委員について
4. 平成26年度以降の臨床実習の期間について
5. 平成26年度以降の講義の時間数について
6. 仮進級制度、単位制・学年制について

第3回

開催日時：平成25年3月27日（水）

- 議 事：1. 前回の議事録について
2. アンケート結果について
3. 国際評価の結果について
4. 仮進級について
5. 単位認定の問題について
6. 卒業時の成績と国家試験の相関について

臨床技能教育部会

開催日時：平成24年12月17日（月）

- 議 事：1. CBT・OSCEの運用について
2. 平成25年度OSCEの運用について
3. スキルスラボ シミュレーター機材等整備について
4. 国際認証、医行為について

FD部会

開催日時：平成24年5月16日（水）

- 議 事：事業（開催）計画について

自己評価委員会

開催日時：平成24年12月18日（火）

- 議 事：平成23年度の事業実績報告について

開催したFD一覧

第1回

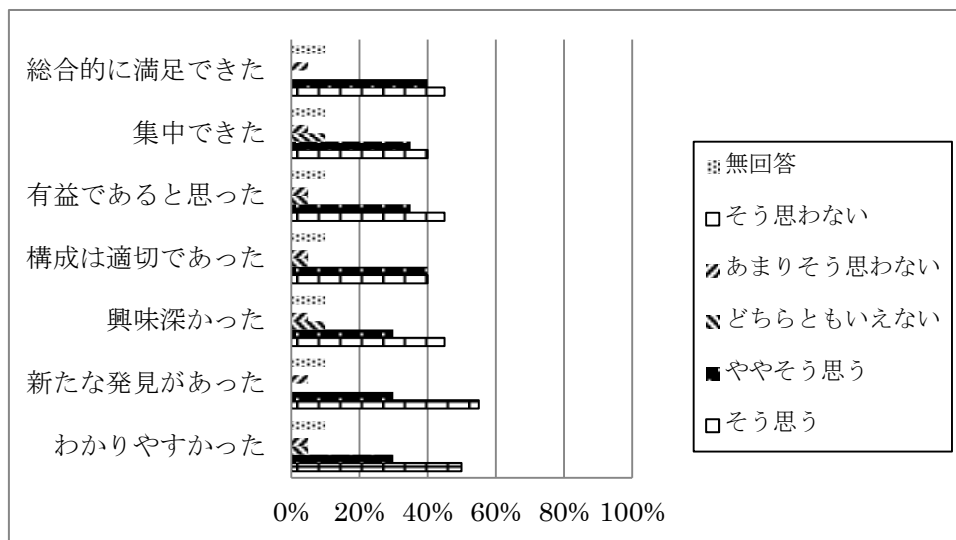
開催日時：平成24年4月4日（水）

演 題：試験問題作成のポイント

講 師：和歌山県立医科大学 教育研究開発センター
センター長 羽野 卓三

参加者数：教員20名

FD 終了後に実施したアンケートの結果



第2回

開催日時：平成24年8月4日（土）

演 題：グローバル化に対応した臨床実習のあり方

講 演：診療参加型実習導入 6年間の試行錯誤

講 師：東京医科歯科大学 医歯学総合研究科

臨床医学教育開発学分野 教授

田中 雄二郎 先生

学生発表：海外での臨床実習の経験

グループワーク：
・ 文部科学省委託事業による指針と本学の臨床実習の比較

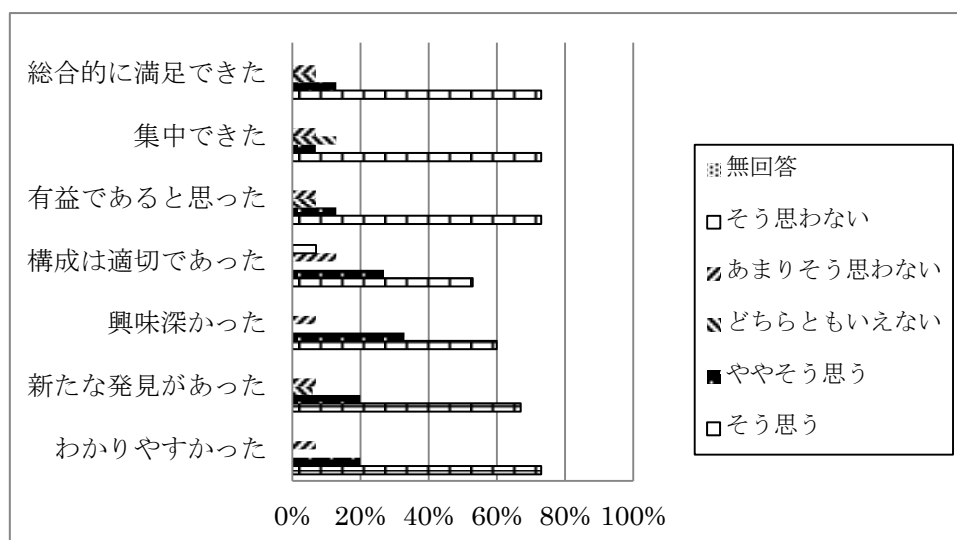
～参加型臨床実習の必要条件の洗い出しと実施に当たっての問題点抽出

・ 現行の臨床実習をより臨床参加型に近づけるために

～モデル科における改革案の作成

参加者数：教員17名

FD 終了後に実施したアンケートの結果



平成24年度和歌山県立医科大学第2回Faculty Development

グローバル化に対応した臨床実習のあり方

?班

メンバー

1.
2.
3.
4.
5.

6.
7.
8.
9.
10.

指針と各科の臨床実習の相違点

- 1.
- 2.
- 3.

参加型臨床実習の条件と実施時の問題点

- 1.
- 2.
- 3.

臨床実習改革のモデル案

- 1.
- 2.
- 3.

グループワークのまとめ用雛形

各班のグループワークまとめ

1 班

指針と各科の臨床実習の相違点

1. 術前の時間が少ない
2. スタッフ、初期研修医の不在
3. 毎日のディスカッションは行っていない。
4. 研修医が学生の指導に関わらない

参加型臨床実習の条件と実施時の問題点

1. 入院時に診断がついている。
2. 診察に積極的に関われない。
3. 学生のモチベーション、知識レベル
4. 学生の評価方針
5. 学生のレベルの差
6. スタッフのモチベーション、環境
7. 指導スタッフの評価

臨床実習改革のモデル案

1. 最初から患者に関わるシステム
2. 学生の書けるカルテの構築
3. 研修医による学生の指導体制の構築
4. 実習期間の変更

2 班

指針と各科の臨床実習の相違点

1. 指導医と学生間に研修医の直接的な指導がある点。
2. 学生の役割分担を明確にしている点。
3. 学生の医学的知識の豊富さ。

参加型臨床実習の条件と実施時の問題点

1. 直接的な指導を行う後期研修医の医学レベルの問題。
2. 初期研修医教育とどのように並行して行っていくか。
3. 各科における人力的な問題。

臨床実習改革のモデル案

1. 各科それぞれの臨床実習指針だけでなく、大学として臨床実習の指針を明確にする（医行為の基準など）
2. 学生ではあるが、臨床実習での役割と立場を明確にする（拘束時間などの問題）
3. 学生カルテの活用
4. 各科選択制による少人数グループ実習

3 班

指針と各科の臨床実習の相違点

1. 学生の質
 - ・ 社会人としての資質
 - ・ 知識
2. 患者の質
 - ・ 協力していただけるのが困難
3. 指導医の質
 - ・ 知識
 - ・ マンパワー

参加型臨床実習の条件と実施時の問題点

1. 学生の質
 - 社会人・医療人を教える講義（医師以外のコメディカル）試験の可否を厳しくする
2. 患者の質
 - すべての入院時の説明に「学生に協力」をお願いする「同意書」とるのが大変です
3. 指導医の質
 - チーム医療を推進するに当たって現在の初期・後期研修医の自覚・質医者以外にマネージメントしてくれる人募集「臨床実習」の責任の所在は「大学」です

臨床実習改革のモデル案

1. 各科統一したシステム・カリキュラム（とくに選ボリ）
2. 海外留学の話を、学生や研修医に報告
3. 臨床実習のマネージャーを置く（医師以外でも）
4. 5年生と6年生かぶらんようにしてください

4 班

指針と各科の臨床実習の相違点

1. DVDで示された臨床実習においては人的・時間的余裕を感じた。
2. DVDで示された臨床実習においては指導体制（屋根瓦式）が確立されていた。
3. DVDで示された臨床実習では病態の論理的推論が重要視されていたが、当方では手技の見学に時間を割いていることが多い。

参加型臨床実習の条件と実施時の問題点

1. 実習生に「仮免許」をあたえる。
2. 実習生にどこまで患者さんを診せていいものか不明である。
3. 入学初期から実習までに自分の考えを発言する姿勢を植えつけることが必要ではないか。
4. 本学の実習のコンセプトを決めるべきか？あるいは各科にまかせるか？たとえば手技を重視するのか、病態生理・プレゼンテーション能力を重視するか？
5. コンピューター端末を増やす。
6. 実習の同意書は入院時に事務方で取得してほしい。

臨床実習改革のモデル案

1. 各科に教育担当の教官を配属する。
2. 大学・附属病院で実習生とのディスカッションの時間を確保する。
3. マンパワーの問題を解決する。
4. 医学教育は8年間にする（初期研修は大学付属病院での研修を必須にする）
5. 一般教養の時間を工夫して医学教育の早期導入を行う。
6. 全科を実習する必要はないのではないか。
7. 大学以外での病院・開業医の指導の下での実習

学生の発表内容

University of Hawaii
international
observership program

Wakayama medical university
MS6

Program

- > 2012/6/4(Mon)-6/22(Fri)
Internal medicine Team Care @ Kuakini healthsystem
- > 2012/6/23(Sat)-6/30(Sat)
Family practice @ Dr. Takeshi's clinic
- > Every Wednesday
Presentation lecture
(By Dr. Mitsuhiro, professor of speech of Hawaii University)



Kuakini health system
internal medicine Team care

- > Team member
 - 2nd year resident (upper resident)
 - 1st year resident (intern)
 - UH student
 - Observer
- > Med-Surge
- > ICU, CCU, PC

Schedule @ Internal Medicine

- > 5:30am ~ pre round
 - > 担当患者さん (約1~4人) の診察
 - > progress noteを作成
- > 6:00am ~ round
 - > 1st or 2nd resident と回診, ディスカッション
 - > 自分の progress note を口頭でプレゼンテーション

- > Team conference
 - > 患者さんの方針を立案
 - > オーダー入力
- > Up date to attending Dr.
 - > 患者さんの状態・方針を報告
- > 10:00 ~ ICU round
 - > intensivist と共に全チームの ICU 患者さんを回診
- > 処置等



平成24年度第2回FD 「グローバル化に対応した臨床実習のあり方」

日時:平成24年8月4日(土) 午前9時～午後3時

場所:高度医療人育成センター

《プログラム》

9:00～9:20 板倉徹 学長より挨拶

オリエンテーション

9:20～10:20 グループワーク①

「文部科学省委託事業による指針と本学の臨床実習の比較」

～参加型臨床実習の必要条件の洗い出しと実施に当たっての問題点抽出

10:30～12:00 特別講演

「診療参加型臨床実習導入 6年間の試行錯誤」

東京医科歯科大学医歯学総合研究科臨床医学教育開発学分野

田中雄二郎教授

12:00～12:45 昼食(各自)

12:45～13:05 海外での臨床実習の経験(学生発表)

13:05～13:35 グループワーク発表①

「参加型臨床実習の必要条件と実施に当たっての問題点」

13:35～14:30 グループワーク②

「現行の臨床実習をより臨床参加型に近づけるために」

～モデル科における改革案の作成

14:30～15:00 グループワーク発表②

各グループの発表と総合討論

*修了証書(後日配布)

第3回

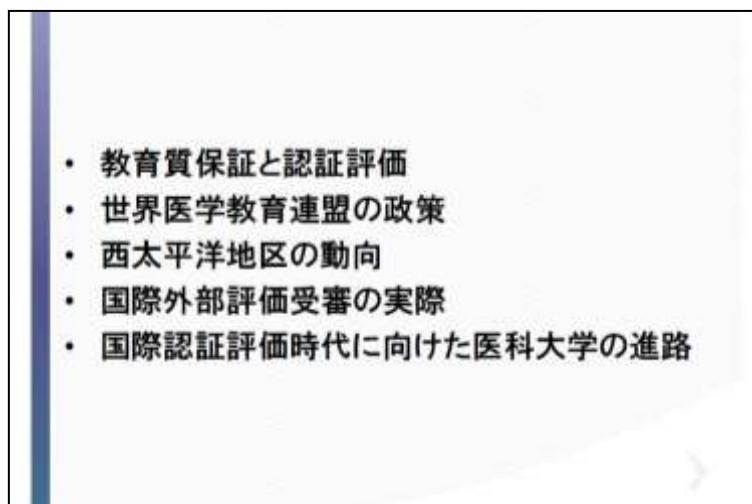
開催日時：平成24年10月5日（金）

演 題：国際質保証時代に向けた日本の医科大学の進路

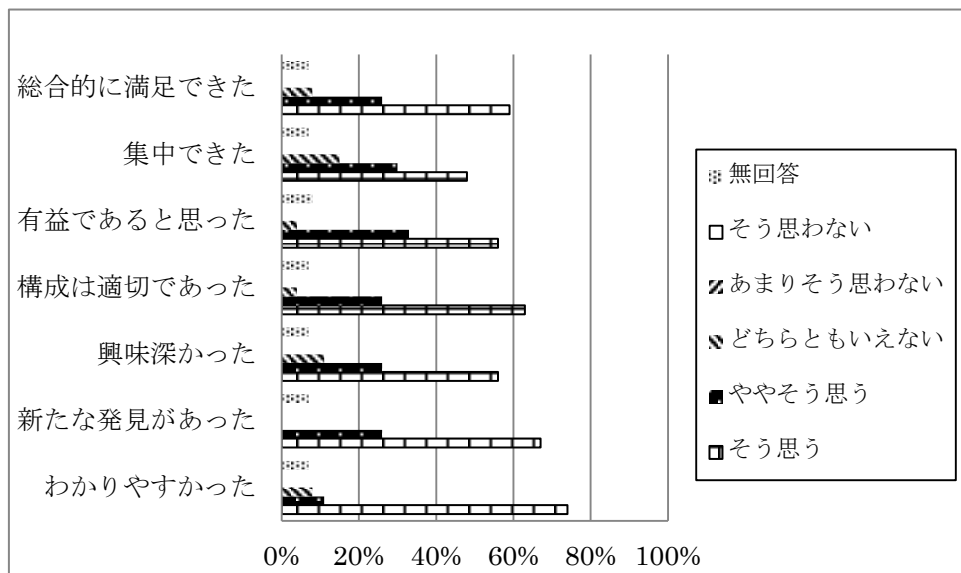
講 師：東京女子医科大学 医学部医学教育学 主任教授

吉岡 俊正 先生

参加者数：教員28名



FD 終了後に実施したアンケートの結果



第4回

開催日時：平成25年1月11日（金）

演 題：医療系大学における教養教育について考察

—他大学調査内容及び札幌医大での改革推進計画を中心に—

講 師：札幌医科大学 医療人育成センター

教育開発研究部門 部門長・教授

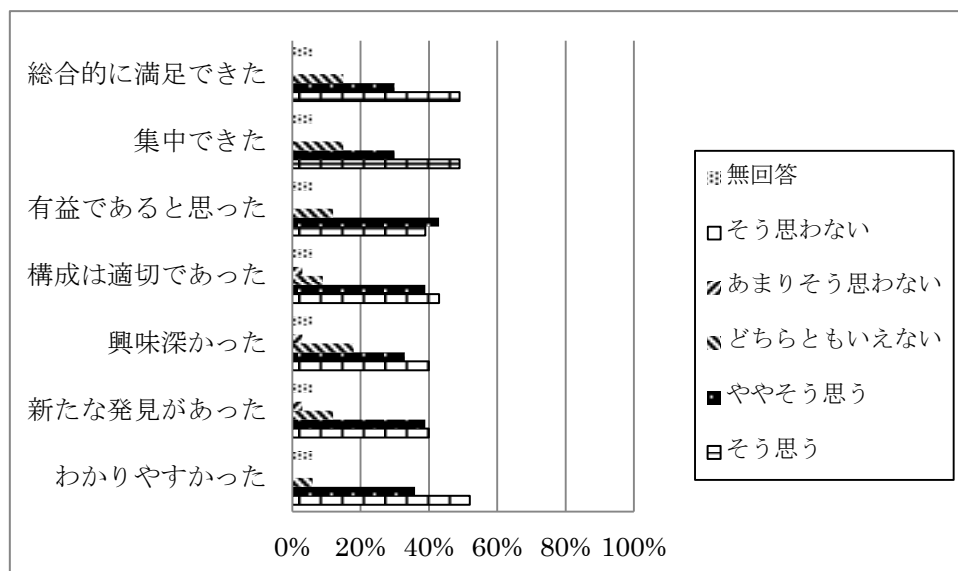
相馬 仁 先生

参加者数：教員34名

※保健看護学部教員も参加



FD 終了後に実施したアンケートの結果



和歌山SPの会

SP (Simulated Patient : 模擬患者) は、医療従事者の研修などで患者さんの役をします。医療現場でのコミュニケーションを改善するために重要性が高まっており、ケアマインドを併せもった医療人教育を進めるためにも必要です。和歌山 SP の会は、平成 18 年度に設立され、臨床技能教育の効果を高めるよう研修を重ねています。

平成 24 年度の開催内容

	開催日時	内容
第 59 回	平成 24 年 4 月 18 日(水)	Advanced OSCE シナリオについて 新模擬患者候補者への説明と見学会
第 60 回	平成 24 年 5 月 16 日(水)	Advanced OSCE シナリオについて
第 61 回	平成 24 年 6 月 6 日(水)	Advanced OSCE シナリオについて
第 62 回	平成 24 年 7 月 18 日(水)	医療面接の実際とフィードバック
第 63 回	平成 24 年 9 月 12 日(水)	がん患者シナリオについての講習
第 64 回	平成 24 年 10 月 17 日(水)	医療面接について新人模擬患者への説明
第 65 回	平成 24 年 10 月 24 日(水)	医療面接について新人模擬患者への説明
第 66 回	平成 24 年 11 月 1 日(水)	Advanced OSCE
第 67 回	平成 24 年 11 月 21 日(水)	医療面接の講習
第 68 回	平成 24 年 12 月 12 日(水)	医療面接の練習
第 69 回	平成 25 年 1 月 16 日(水)	医療面接の練習
第 70 回	平成 25 年 2 月 6 日(水)	医療面接の練習
第 71 回	平成 25 年 3 月 12 日(火)	医療面接
第 72 回	平成 25 年 3 月 13 日(水)	OSCE: 医療面接

学生実習について

平成24年度1年生地域福祉関係施設実習

- 目的：ケアマインドやコミュニケーションスキルを身につける。
介助体験等によって医師となる自覚、厳しさを身につける。
入居者・利用者を中心とした各スタッフの協調性の重要性を理解する。老人福祉施設の現場を介助体験等に通じて理解し、老人医療の現場を体験する。アーリー・エクスポージャーに続いて、地域医療の実態等を学ぶ。
- 実習内容：老人福祉施設の指導者や職員の指示に従い、入居者・利用者周辺における各種サービスの見学と体験を実施する。
- 実習期間：平成25年2月
- 実習施設：竹の里園、紀伊松風苑、紀伊てまり苑、わかうら園、喜成会、大日山荘、芦辺荘、紀三井寺苑、親和園、第二親和園、第五親和園、アンシアナトー、高陽園、天美苑、田鶴苑、愛光園、さくら苑、ゆら博愛園、ひだか博愛園みちしお、日高博愛園、ときわ寮川辺園、美山の里、カルフル・ド・ルポ印南、龍トピア、熊野本宮園、白浜日置の郷

平成24年度2年生保育園実習

- 目的：医療人としての豊かな人間涵養を育むため、乳幼児とふれあうことにより、ケアマインドやコミュニケーション能力を身につける。また、実習を通じて育児を支援する保育園の現状を学ぶ。
- 実習期間：平成25年3月4日（月）～15日（金）
（実習先、グループによって期間は異なる）
- 実習施設：さつき保育園、みちる保育園、さんた保育園、しょうぶ保育園、ようすい保育園

平成24年度2年生障害者福祉関係施設実習

- 目的：大学病院ではほとんど経験することの出来ない障害者福祉施設での実習を行うことにより、さらにケアマインドを育成し、医療の現状について理解を深めることにより、医療人としての資質の向上に努める。
- 実習期間：平成25年3月4日（月）～15日（金）
（実習先、グループによって期間は異なる）
- 実習施設：愛徳医療福祉センター、和歌山つくし医療・福祉センター、南紀医療福祉センター・牟婁あゆみ園・牟婁さくら園、国立病院機構和歌山病院、綜成苑・綜愛苑

学生の感想文

この 5 日間で感じた事は、認知症が進んでいても、私達と同じように嬉しい、悲しい、腹立たしい、気持ち良い、不快など様々な感情があつて、それをうまく伝えられる入居者の方、伝えることが出来ない入居者の方、伝えられるレベルも多種多様であるということです。実習を終えてから、意識するからなのか、ニュースで施設の入居待ちの高齢者が多いということをよく耳にするようになりました。自分の意識の中に老人福祉施設の現状が存在するようになりました。5 日間でしたが、体験させていただいたことを今後に生かしていきたいです。ありがとうございました。

.....

今回の実習では、実際に現場を訪れ介護を体験するなかで、机上では想像もできない、実感がわからないことを肌で感じ、多くのことを学びました。学んだ中で最も感銘を受け、これから医師を目指す上で重要だと思ったことは、言葉と会話でした。コミュニケーションにおいて相手の名前を呼ぶだけで反応がよくなり、表情や手を使ったジェスチャーなどでさらに会話がしやすくなりました。これは臨床の場でとても役に立つと思います。また、相手への言葉づかいについても学びました。印象に残った職員の方の話として以下のものがあります。「～しますね」という断定形（言外での命令形）よりもやはり「～してもいいですか？～しても大丈夫ですか？」と疑問形で相手を気遣い、おしつけにならないようにするのが大切です。介護の現場で学んだことを将来医療現場で活かしていこうと思います。

.....

入浴介助と食事介助について、生活していくには必須の動作であり、何よりも利用者の方が 1 日の中で最もリスクが大きい一方、最も楽しみにしている動作であるということが、この度の実習でよく分かりました。完全なる食事介助が必要な方も、デイサービスではおられます。ただ、リスクはあるといえども、1 人 1 人の自立能力を最大限生かせるよう、自助具を使ってもらい、私達介護する側は見守るということも必要な役割であると感じました。それは、単に何もしないということではなく、利用者の方々全員の状態を細やかに把握し、もし、利用者が誤嚥したり、足をすべらせてしてしまった時には、速やかに手助けができるようにするという事は、利用者を寝たきりにさせ介護するよりも、手間がかかることではないでしょうか。そして、その手間は必ず利用者の幸せという形で返ってくると感じました。見守られながら、何かを自分でできるようになる、自ら好んで食べ、話しして、お湯につかるといったことは幸せなことであると、利用者の方が職員の方に「ありがとう」と感謝しているようすを見て思いました。介護度は本当に様々で、対応も様々でしたが、利用者の方々全員に対して、尊重したもてなし方をしていました。実際の現場の多忙そうな一面をみて、1 人 1 人に付きっ切りになることは難しく、きめの細かい対応は思った以上に厳しいです。ただ、どんなに多忙であっても、利用者の方を心から尊重し、利用者の目線で生活を見ていると、自然と笑顔で接するなどの「接遇」に近いことが職員の方のようにできるのではないかと、この度の実習を通して考えさせられました。

発行した冊子

教育研究開発センターでは平成24年度に以下の冊子を発行しました。

平成24年度5年生医療問題ロールプレイ パンフレット・DVD

平成24年度5年生が取り組んだ医療問題ロールプレイの全ての班の上演を録画したDVDと各班の概要を掲載したパンフレットです。

発行月：平成24年5月

ロールプレイ概要：医療問題ロールプレイは、学生が現在の医療と体制の問題点を探り、「医療のあるべき姿」をえがき、発表するという取り組みで1999年に始めました。それまでに学び、体験したことを総合的にまとめ、発表する機会ともなり、患者さんやご家族の心に対する感性を磨き、理解につなげることができます。テーマ、シナリオ作成、監督、演劇、音響、照明、ポスター作成など、すべてを学生の手作りで行っています。発表までは教員が関与しません。シナリオ作成にあたって「絶対に医療関係者に相談してはならない」というルールを決めています。そのため、学生自身が培ったケアマインド、患者さんの心をストレートに反映したシナリオができあがり、感動を生む発表につながっています。

発表は5年次の4月に行われます。入院患者さんにも観衆に加わっていただくため、学生が病棟を回って発表会にお誘いしています。このような一つ一つのプロセスによって「刷り込み」が行われ、また、チームの力で一つのことを成し遂げる貴重な経験にもなっています。



臨床技能研修センターパンフレット

発行年月：平成25年3月

概要：和歌山県立医科大学臨床技能研修センター（スキルラボ）についての情報冊子です。施設の利用方法やシミュレーターの紹介などについて掲載しています。



第 44 回日本医学教育学会総会での発表内容

開催日時：2012 年 7 月 27 日（金）・28 日（土）

開催場所：慶應義塾大学 日吉キャンパス

テ ー マ：「一身独立の若手医療人育成を目指して」

一般演題 口演 第一日目 7 月 27 日（金）

口 演：入学者選抜・Early exposure

「入試形態による入学後の成績推移の追跡調査」

羽野 卓三、水越 正人

和歌山県立医科大学医学教育・集団医療学

【目的】和歌山県立医科大学は、学生定員の増加に伴って、一般枠推薦（6 名程度、県内募集）、地域枠推薦（10 名程度、県内募集）、県民医療枠推薦（5 名程度、全国募集）、一般枠前期入試（64 名程度、全国募集）、県民医療枠前期入試（15 名程度、全国募集）と多彩な選抜方法を採用している。選抜方法により、その後の成績に差異が生じているかを追跡調査した。

【方法】平成 20 年から 22 年入学の一般枠推薦、地域枠推薦、県民医療枠推薦、一般枠前期入試、県民医療枠前期入試の学生について、入学時の成績および面接試験の成績とその後各年次の進級試験の成績の推移を追跡調査した。

【結果】推薦入試による入学者は成績が上位の者が多かった。推薦者では、センター試験の成績が低くても面接での成績が上位の者で、その後の成績が上位であった。センター試験の成績が低く、面接の成績が悪いものはその後の成績が低迷していた。また、1 年次の成績が低迷したものには高校での成績が悪いものが多く含まれた。前期入試では入学時の成績と 1 年終了時の成績は相関しなかった。2 年次以降はほぼ平行しており、大きく変動するものは具体的な背景があるものが多かった。前期入試では入試の形態での差は少なかった。

【結語】推薦入試の際に行う、面接はその後の成績推移に寄与していた。1 年次終了時の成績は入学時の成績とは関連せず、その後の成績推移と関連していた。

口 演：プロフェッショナルリズム教育

「臨床実習における患者満足度と知識・技能の評価についての解析(最終報告)」

羽野 卓三、西原 佳奈美、丸山 茂美、岩根 直美、水越 正人、
和歌山県立医科大学医学教育・集団医療学

【目的】和歌山県立医科大学はケアマインド教育に取り組み知識・技能とともにケアマインドの育成を2つの柱としたカリキュラムを採用している。そこで、これらのカリキュラムが患者満足を得られる医師の育成に有効かどうかを明らかにするため、指導医、患者、看護師による多面的評価から解析した。

【方法】平成22年6月から平成23年まで12月までの医学部5年生89名に対して、指導医からは知識・技能に関する10項目について、患者からは態度、配慮に関する12項目、看護師からは患者の性格、不安、社会的背景の把握に関しての11項目について聞き取り調査を行った。最終的に51名の調査結果を解析し、1年次のケアマインド教育の成績、4年次の総合成績、共用試験の成績と比較検討した。

【結果】指導医による調査項目では、基礎・臨床知識、技能についての評価は高かったが、薬剤やEBMについての知識への評価が低かった。患者の評価では接遇や診察時の配慮と比較し、家族・社会的背景への配慮が不十分であった。看護師からは性格や病気への不安に対する配慮と比較し、経済的、社会的不安に対する配慮についての評価が低かった。指導医評価は卒業時の成績($r=0.27, p=0.011$)、OSCEの成績($r=0.406, p<0.001$)と正相関を示したが、ケアマインド教育の成績とは相関を示さなかった。看護師の評価は卒業時の成績とは相関を認めず、ケアマインド教育の成績($r=0.26, p=0.043$)、と正相関を示した。患者評価は卒業時の成績とは相関せず、ケアマインド教育の成績($r=0.48, p=0.005$)と正相関を示した。

【結語】看護師および患者評価はケアマインド教育の評価と相関するが、知識・技能を問う卒業試験とは相関しなかったことから、患者満足を得られる資質は通常の教育では育成が困難であり、継続的なケアマインド教育が必要である。共用試験OSCEは指導医、患者評価の両方に正相関し、知識・技能・態度を評価する手段として有用な方法であると思われる。

□ 演：共用試験（CBT・OSCE）

「共用試験 OSCE と CBT の成績に関連する入学後の成績についての追跡調査」

水越 正人、羽野 卓三

和歌山県立医科大学医学教育・集団医療学

【目的】共用試験は臨床実習を行うための知識、技能、態度をみる重要な試験である。4年次の席次とは必ずしも一致しない場合があり、どの学年の成績の関与が大きいのか、実習態度など成績に依らない要素が関与するかについて検討した。

【方法】平成20年の学生について、1年～4年次の進級時の成績および共用試験 OSCE および CBT の成績との相関について検討した。また、4年次の最後に行われる臨床実習の準備教育実習への出席率との相関をみた。

【結果】共用試験 OSCE の成績は、1年から4年次の進級試験と有意な正相関を示したが、3年次の成績と最もよく相関した(1年 $r=0.535$, 2年 $r=0.562$, 3年 $r=0.614$, 4年 $r=0.489$)。また、準備教育実習と正相関を示した($r=0.548$)。CBT の成績は、1年から4年次の進級試験有意な正相関を示したが、1年次の相関は弱く、3年および4年次の成績と最もよく相関した(1年 $r=0.382$, 2年 $r=0.479$, 3年 $r=0.687$, 4年 $r=0.677$)

【結語】共用試験 OSCE は臨床技能教育のみならず、1年次の成績ともよく相関し、修学に対する意欲、態度との関連が強かった。また、CBT は高学年の成績とよく相関したが、基礎医学との関連も強くみられ、修学態度も関連していた。

学生自主カリキュラムの取組

1. 覚せい剤精神依存を担う脳内グリア細胞の役割に関する研究

西上 英樹 (医学部 3年)

門脇 友維 (医学部 2年)

本研究の知見をまとめると、メタンフェタミンはケモカインMCP-1の発現増加およびそれに伴うミクログリア活性化を惹起し、神経炎症を誘導することが示された。MCP-1や他のミクログリア由来因子が脳内報酬系を構成するドパミン神経を賦活化し、メタンフェタミン精神依存の形成において重要な役割を有することが示唆される。

2. 物忘れ外来と離島医療

蓮下 雄大 (医学部 3年)

宮村 保吉 (医学部 3年)

私たちは、奄美大島の大島郡医師会病院にて1ヶ月に約2日間、物忘れ外来の非常勤医師として働く浅野直医師と出会いました。大島群医師会病院の物忘れ外来は常勤医師によってではなく、複数の他府県からの非常勤医師によって行われているということを目にしました。私たちはそこで以下のように疑問を感じました。“月に一度、しかもその一回の滞在期間が数日程度というように、制限され、疎遠とも思われる医療形態では、実際の患者-医師間の信頼関係や距離はどうなっているのだろうか。”物忘れ外来は主に高齢者、超高齢者を対象とする分野であり、これからの医療現場でますます重要となってくるのではないかと考えられます。また、離島・僻地・地域では都市部に比べ高齢者、超高齢者が多く、それはこれから先の将来の日本全体の縮図となっていると考えられます。従って、今回、離島である奄美大島で行われている物忘れ外来を対象にすることはこの分野を考える上でとても有用であると考えました。そこで、大島郡医師会病院の物忘れ外来における勤務形態を実際に見学させていただき、その状況、現場の声からその仕組みを考察することにより、先に記した疑問について考えるとともに地域・僻地で働く医師不足問題の解消の糸口としての非常勤医師交代制の有用性を考えられるのではないかと思い、このカリキュラムを設定しました。

3. 和歌山県立医大・奈良県立医大合同

学生災害ボランティアバスによる福島復興支援活動

和田 卓三	(医学部 5年)
高橋 真麻	(大学院保健看護学研究科 1年)
長野 汐梨	(大学院保健看護学研究科 1年)
小島 芙心	(保健看護学部 4年)
金井 俊太	(医学部 2年)
白木 麻衣子	(医学部 2年)
高倉 敏彰	(医学部 2年)
石井 健次	(医学部 1年)

参加者がそれぞれ「今、自分にできることは何なのか、福島をいろんなところからアピール、知らせていけたらいいなと思う。」「この活動を続けていく必要があるなと強く感じた。」「現地を訪れて目にした現状、そこで学んだ事を広めていくのが今後の重要な役割であり、自分にできる最大の復興支援であると思う。」「今後の活動に活かしていきたい。」という発言が得られたため、災害医療に対する意識の向上につながったと考えられる。今回の活動の中で得られた被災者の訴えで、精神的ストレスや仮設住宅という環境の変化による身体的負担が重積して健康状態に影響を及ぼしていることがわかった。慢性期に必要な医療として、継続した被災者の健康診断や相談所を設けていく必要がある。福島県立医大、奈良県立医大の学生と交流することができ、災害医療に興味がある学生と災害医療コースで教えてくれていた先生方とも話をする機会があり、とても貴重な体験であり、この繋がりを今後も大切にしていきたい。また、和歌山県立医大でも災害に興味がある人と出会え、今後も和歌山で一緒に活動していきたい。この活動を継続していくことが、「震災を風化させたくない」という福島医大の学生たちの思いを受けることになり、さらに和歌山でも1人でも多く災害に興味を持ってもらえるように普及活動に努めたいと思う。そして、和歌山でも十分起こりうる震災に対する備えと、発災時に学生が動けるような活動計画や知識の普及なども行っていけたらと思った。そのために、**WAKAYAMA WILL** (和歌山医学生災害ボランティアグループ) を設立し、今後も継続したボランティア活動と情報発信を行っていく。

4. Mets-Japan ミャンマー国際医療研修

～医療格差の現実をみて～

菊地 めぐみ（医学部 3年）

白木 麻衣子（医学部 3年）

私たちは国際医療ボランティアに興味があり、医療物資が不足している環境での工夫、ボランティアスタッフと現地の方々の文化の違いがある中での信頼関係など、医療ボランティアの現実を自分の目で見てみたいという気持ちからJapan-Heartが主催する学生国際医療研修に参加してきました。Japan-Heartは吉岡秀人医師を中心とした日本の国際医療ボランティア団体で、ミャンマー・カンボジアを中心に医療活動を行っており、最近ではドリームトレインという十分な食事、教育を受けられない子供達を保護して、子供達を安全で安心できる環境を与え、将来自立して生活できることを目的としている活動を行っています。今回の研修は私達二人の他に他大学の学生三名の合計五人で参加してきました。

5. フィリピン、パラワン島におけるマラリア対策を探る

鐵尾 真美（医学部 6年）

島 望（医学部 6年）

富永 信太（医学部 6年）

三浦 泰平（医学部 6年）

今回フィリピン、パラワン島エルニドにおけるマラリア調査を行った。フィールドワークに参加するのは初めてであり、本物の研究者さんと活動をさせていただき、物事の捉え方やデータ収集活動の仕方など多くを学ばせていただいた。一番の収穫は、フィリピンであっても日本であっても、都会であっても田舎であっても、問題解決の方法の根本的な部分は共通しているということに気づくことができたことである。調査には、様々なバイアスが影響し、それは短期間の部外者であるほど切り離せない問題であるということも分かった。これからも研修を重ね、野外科学の方法を身につけたいと考える。

6. ザンビアにおける

NPO法人TICOの総合支援活動の視察レポート

瀬戸口 映（医学部 2年）

崎下 雄佑（医学部 2年）

NPO法人TICOの活動視察を通じて国際医療とは、現地のニーズをより正確に汲み取り、その地域社会が抱えている問題を解決するために提供している医療のことであったことがわかった。まさしく冒頭で述べた地域医療そのものではないか。例えば、日本でも医師不足が叫ばれる都道府県はたくさん存在する。その問題や、あるいは

他の、日本で起こっている問題を解決するヒントが、国際医療援助から得られることもある。これは国際医療のほんの一例にしかすぎないが、地域に根付いた医療でなければ継続的に医療を提供し続けることはできず、そもそも循環型社会を目指すことさえできない。最終的にはその地域社会の中だけで看護師の人材育成や、医療機器の拡充、ひいては道路などのインフラ整備が整うことである。その過程をNPO法人TICOがお手伝いをしているということを強く感じた。逆に言えば国内の地域医療を知ることが国際医療を知る手がかりになるということだ。言葉の壁はあるものの、国際医療とは考え次第では非常に身近なものなのである。一度、国際医療を肌身で感じてみませんか。

7. 高次元医用画像の法医学への応用

藤本 貴大 (医学部 3年)

南方 邦彦 (医学部 3年)

山崎 誠司 (医学部 3年)

私たちの印象として、X線CT画像一つからでもこれだけ多くの情報が得られるのかという驚きがまず何よりで、今後の医学の発展に大きく寄与しうる画像診断技術の発展をより身近に感じる事が出来ました。一方で画像撮影機器の、そしてその解析技術の発展に伴ってそれらは私たちによりもっともらしいもの、直観的なものとして画像あるいは映像化される中で、それらが逆に画像の読み手に何かを見逃す、あるいは間違わせる可能性を孕むものではないかということを感じました。以上より、画像診断のみに頼るのではなく、解剖をはじめとした、種々の検査の必要性を改めて感じどれか一つの情報からか安易に“死の原因”を決定しないことの大切さを改めて感じました。

平成24年度事業実績

保健看護学部

開催した委員会一覧

入試制度検討委員会

第1回

開催日時：平成24年4月9日（月）

- 議 事：1. 平成25年度入試について
2. 平成27年度センター入試について

第2回

開催日時：平成24年9月12日（水）

- 議 事：1. 平成27年度センター入試について

FD委員会

第1回

開催日時：平成24年3月30日（金）

- 議 事：1. 副委員長について
2. 平成24年度年度計画について

第2回

開催日時：平成24年4月18日（水）

- 議 事：1. 特別講演会の時期及びテーマについて
2. FDカンファレンスの開催日について
3. 教員相互授業参観について
4. FD連絡会について

第3回

開催日時：平成24年5月9日（水）

- 議 事：1. 特別講演会の講師について
2. FDカンファレンスの進め方等について
3. 教員相互授業参観について

第4回

開催日時：平成24年5月30日（水）

- 議 事：1. FDカンファレンスの日程について
2. 教員相互授業参観について

第5回

開催日時：平成25年1月16日（水）

- 議 事：1. 平成24年度のまとめについて
2. 平成25年度に向けての改善点について

第6回

開催日時：平成25年2月20日（水）

- 議 事：1. 平成24年度のまとめについて
2. 平成25年度に向けての確認について

FD委員会名簿

委 員 長—山田和子

副委員長—内海みよ子

委 員—石村由利子、上松右二、水田真由美、上田伊津代、谷野多見子、佐々木真次

開催したFD一覧

第1回

開催日時：平成24年4月4日（水）

演題1：保健師教育課程における変遷と平成24年度入学生からの教育

演者：保健看護学部 講師 前馬 理恵

参加者数：教員約30名

第2回

開催日時：平成24年6月6日（水）

演題1：在宅高齢者の認知機能低下・抑うつに対する予防介入プログラムの有用性の検討

演者：保健看護学部 講師 服部 園美

参加者数：教員約30名

第3回

開催日時：平成24年9月12日（水）

演題1：ハウツーゲット科研費セミナー

演者：保健看護学部 教授 森岡 郁晴
企画研究課 主事 津村 麻里子

参加者数：教員約30名

第4回

開催日時：平成24年11月7日（水）

演題1：高齢者の認知機能における個人差

演者：保健看護学部 准教授 岩原 昭彦

参加者数：教員約30名

第5回

開催日時：平成25年2月6日（水）

演題1：新卒看護師のためのストレスマネジメント教育の開発

演者：保健看護学部 准教授 水田 真由美

参加者数：教員約30名

第6回

開催日時：平成25年3月6日（水）

演題1：三葛キャンパスですごした13年間

演者：保健看護学部 教授 水主 千鶴子

参加者数：教員約30名

FD特別講演会一覧

第1回

開催日時：平成24年7月23日（月）

演題1：がん看護専門看護師の役割と実際の活動

演者：和歌山県立医科大学附属病院 がん看護専門看護師 温井 由美 先生

参加者数：教職員、大学院生33名

第2回

開催日時：平成24年8月1日（水）

演題1：これからのFDを考える～マネジメントの視点から～

演者：大阪教育大学 教授 白石 龍生 先生

参加者数：教職員32名

第3回（附属病院看護部との共催）

開催日時：平成24年10月26日（金）

演題1：臨床と教育の連携

演者：済生会横浜市南部病院 病院長補佐 陣田 泰子 先生

参加者数：教職員、看護職員86名

第4回（医学部のFDに参加）

開催日時：平成25年1月11日（金）

演題1：医療系大学における教養教育についての考察

演者：札幌医科大学医療人育成センター教育開発研究部門 部門長・教授 相馬 仁 先生

参加者数：教職員30名

発行した冊子

保健看護学部では、平成24年度に以下の1冊の冊子を発行しました。

平成24年度保健看護研究Ⅱ報告書

平成24年度4年生による保健看護研究Ⅱの報告書（22編）です。

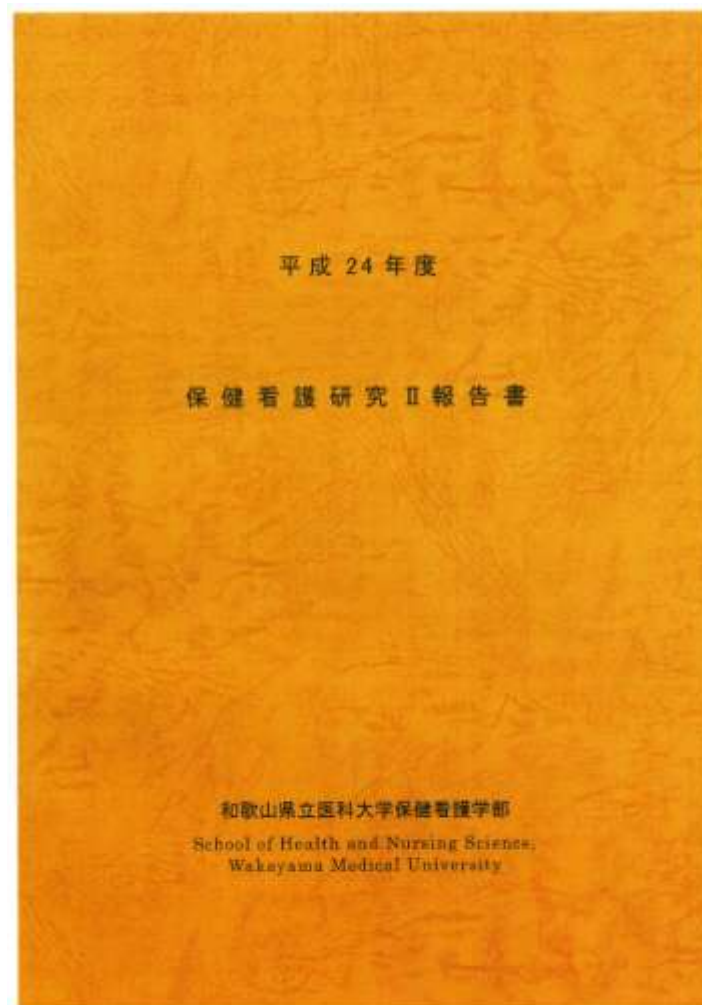
発行年月:平成25年3月

編集:和歌山県立医科大学保健看護学部

発行者:和歌山県立医科大学保健看護学部

保健看護研究Ⅱ報告書は、平成16年の4年制大学への移行以来、毎年刊行されています。

平成24年報告書は、保健看護学部第6期生がほぼ1年間かけて取り組んだ報告書・論文を取りまとめたものであります。研究の過程において、自ら感じた疑問や問題をこれまで学んだ知識を活かして論理的な思考で解決方法を考えること、あるいは自ら主体的に取り組んでいることがわかる報告書です。



取り組んだ事業

第4回和歌山県立医科大学保健看護学会

和歌山県立医科大学保健看護学部設立の理念を継承し、保健看護学の進歩発展と卒業生および教職員など相互の研鑽・親睦をはかり、地域の総合的な保健医療の推進、向上のために貢献することを目的として、和歌山県立医科大学保健看護学会を設立いたしました。第4回 和歌山県立医科大学保健看護学会は第1回から継続している「連携・研鑽・飛躍」を学会のテーマとして開催しました。

1) 日 時：平成24年8月4日（土）

2) 会 場：保健看護学部大講義室

3) 日程表： 9:50～ 開会挨拶

10:00～10:50 一般演題発表

11:00～12:30 シンポジウム

テーマ：暮らしを支えるケア—それぞれの立場から—

シンポジスト

竹川 幸恵 （大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター
／慢性疾患看護専門看護師）

温井 由美 （和歌山県立医科大学附属病院
／がん看護専門看護師）

石井 浩子 （那賀生き生きサロンお世話係）

灘井 京子 （トータルケアセンターなだい 代表）

座 長：鈴木 幸子 （和歌山県立医科大学保健看護学部）

12:30～12:50 総会

13:40～15:10 特別講演

テーマ：臨床という海

講演者：徳永 進（野の花診療所 院長）

座 長：有田 幹雄（和歌山県立医科大学保健看護学部）

15:15～16:00 一般演題発表

16:00 閉会

17:00～18:00 懇親会

4) 参加者：卒業生等125名、教員34名、学部生18名 計 177名

84 平成24年 SAT.

第4回
和歌山県立
医科大学

保健 看護 学会

会場：和歌山県立医科大学保健看護学部内

学會理事長 有田 幹雄
第4回大会長 鈴木 幸子

連携 研鑽 飛躍

～社会に開かれた医療～

特別講演

講師 徳永 進 [野の花診療所 院長]

シンポジウム

暮らしを支えるケア

～それぞれの立場から～

シンポジスト

- ・竹川 幸恵 [大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 慢性疾患看護専門看護師]
- ・温井 由美 [和歌山県立医科大学附属病院 がん看護専門看護師]
- ・石井 浩子 [那賀いきいきサロン お世話係]
- ・灘井 京子 [トータルケアセンターなだい 代表]

6.20 演題 (抄録)
平成24年 WED. 申込締切

7.10 参加
平成24年 TUE. 申込締切

和歌山県立医科大学ホームページに演題申込などの
詳細を掲載しておりますので、ご確認をお願いいたします。
<http://www.wakayama-med.ac.jp>
→ 卒業生の方へ → 各種情報:保健看護学会

和歌山県立医科大学 WAKAYAMA MEDICAL UNIVERSITY
保健看護学会 SOCIETY OF
HEALTH AND NURSING SCIENCE
(和歌山県立医科大学保健看護学部内)

<http://www.wakayama-med.ac.jp/usermenu/kangog.html>

和歌山県和歌山市三番580 〒641-0011 TEL 073-446-6700 FAX 073-446-6720
E-Mail : hokenka@wakayama-med.ac.jp

学生自主カリキュラムの取組

1. 三葛の子どもたちを対象とした健康教室

精松 亜美 (保健看護学部 2年)
坂口佳奈映 (保健看護学部 2年)

和歌山市三葛地区の小学生を対象に、健康に対する興味や関心を高めるため、食事作りや手洗い、歯磨きの方法について教室を開いた。生活習慣の基礎ができる時期にある子ども達との交流を通じ、楽しみながら、バランスの良い食事作りや手洗い、歯磨きの大切さを伝えることができた。

2. 台風12号による被災地の現状と支援について

小山 夏苗 (保健看護学部 4年)
新田千奈美 (保健看護学部 4年)
濱田 明奈 (保健看護学部 4年)
山本千紗都 (保健看護学部 4年)

平成23年9月3日の台風12号発生から一年が経過した今、被災地の現状と課題を知ることにより自分たちができる支援について考察することを目的としてインタビュー調査を行った。被災地の方から復興に向けての現況について話を聞くことにより、これからも継続的な支援が必要であり、被災地の方もそれを望んでいることがわかった。

3. 国立感染症研究所を訪問して

木下 晃輔 (保健看護学部 4年)
小橋 美月 (保健看護学部 4年)
永久 綾子 (保健看護学部 4年)
前田 絵理 (保健看護学部 4年)

講義や実習を通して学んできた感染症の地域での様々な取り組みについて、実際の感染症予防対策、研究等の業務を知るために感染症対策の中心を担っている国立感染症研究所を訪問した。国立感染症研究所では、医師や獣医師など様々な職種の方が、ウイルスについて日々研究を重ね、感染症の蔓延を防止するために世界各国とも連携し、情報発信していることを教えていただき、感染症対策について理解を深めることができた。

4. 東日本大震災の被災地を訪れて in 宮城県南三陸町

中谷 奈央 (保健看護学部 2年)

西出 智咲 (保健看護学部 2年)

東日本大震災から一年が経過した前回の訪問により、被災地の方がボランティア活動の継続を望んでいることがわかったため、再び宮城県南三陸町を訪れてボランティア活動を行った。今回の訪問で復興は着実に進んでいるが、まだまだ時間がかかることと被災地を忘れないで欲しいという被災地の方の思いを肌で感じ、改めてボランティア活動の継続が大事であることを知ることができた。

5. タッチパネルを有する機器の感染状態およびその使用者の意識に関する調査結果

井口 理恵 (保健看護学部 1年)

井爪 菜帆 (保健看護学部 1年)

今田ちひろ (保健看護学部 1年)

岩端 泰穂 (保健看護学部 1年)

栗山 祐衣 (保健看護学部 1年)

相坂ゆりか (保健看護学部 1年)

中口 美幸 (保健看護学部 1年)

西村 珠美 (保健看護学部 1年)

吉村香名子 (保健看護学部 1年)

太田 桜子 (保健看護学部 1年)

日常生活の場にあるタッチパネルを有する機器の衛生検査と使用者の清潔に関する調査を同時に行うことにより、タッチパネルの感染状態と使用者の意識や掃除状況を調査した。

タッチパネルには多くの菌が繁殖しているが、汚染意識を持つ人があまり多くないという調査結果から日常におけるタッチパネルに対する汚染意識を高めるための活動が必要であることがわかった。

臨床技能研修センター

和歌山県立医科大学臨床技能研修センター設置及び管理・運営規程

制 定 平成18年11月14日和医大規程第 313 号

最終改正 平成 22 年 4 月 1 日和医大規程第 14 号

(趣旨)

第 1 条 この規程は、和歌山県立医科大学内に設置する臨床技能研修センターの使用に関して、必要な事項を定めるもので、施設・備品の円滑かつ良好な管理・運営を図ることにある。

(設置)

第 2 条 和歌山県立医科大学内に臨床技能研修センターを設置する。

2 臨床技能研修センターには、次の研修室を設置する。

- (1) 基本的手技研修室
- (2) 外科的手技研修室
- (3) B L S ・ A C L S 研修室
- (4) 模擬病室

(目的)

第 3 条 臨床技能研修センターは、和歌山県立医科大学の学生、同附属病院の研修医をはじめとする教職員、さらには地域医療支援のため、地域医療機関等の医療従事者の臨床技能の習得・向上及び安全管理の確立を図ることを目的に設置するものである。

(審議)

第 4 条 臨床技能研修センターの管理・運営に関する重要事項については、教育研究開発センターの臨床技能教育部会で審議する。

(管理者の設置)

第 5 条 臨床技能研修センターの管理・運営及び教育支援を行う管理者をおく。

- 2 管理者は、教育研究開発センター長をもって充てる。
- 3 臨床技能研修センターに関する事務は、教育研究開発センターが所管する。

(管理者の業務)

第 6 条 臨床技能研修センターの管理者の業務は、次のとおりとする。

- (1) 臨床技能研修センターの使用の管理
- (2) 臨床技能研修センターの施設・備品の管理
- (3) 使用者への技術指導
- (4) 使用対象者への広報活動
- (5) 教育研究開発センター臨床技能教育部会への管理・運営報告
- (6) その他、臨床技能研修センターの管理・運営に必要な業務

(使用対象者)

第7条 臨床技能研修センターを使用できる者は、次のとおりとする。

- (1) 和歌山県立医科大学に在籍する学生、大学院生、研究生、研修生、大学院研究生及び博士研究員
- (2) 和歌山県立医科大学及び同附属病院に所属する研修医及び教職員
- (3) 教育研究開発センター、卒後臨床研修センター等、学内組織が主催または共催する講習会に参加する者
- (4) 地域医療機関の医療従事者
- (5) その他、管理者が適当と認めた者

(使用内容)

第8条 臨床技能研修センターの使用内容は、次のとおりとする。

- (1) 学生対象の臨床実習準備教育
- (2) 学生対象の臨床実習中の臨床技能教育
- (3) 研修医対象の卒後研修中の臨床技能研修
- (4) 院内・外の医療従事者等対象の臨床技能講習
- (5) 学生、研修医、医師、看護師、救命救急士、市民等対象のBLS・ACLS講習
- (6) 院内の研修医及び教職員対象の安全管理教育
- (7) 第1号から第3号に係る予習・復習等の自己訓練
- (8) その他、管理者が必要と認めた場合

(使用日時)

第9条 臨床技能研修センターを使用できる日は、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に定める休日、年末年始（12月29日から翌年1月3日まで）及び本学創立記念日を除く日とする。ただし、管理者が特に必要と認めるときは、この限りではない。

2 臨床技能研修センターを使用できる時間は、原則として午前9時から午後5時までとする。ただし、管理者が特に必要と認めるときは、この限りではない。

(使用申込)

第10条 臨床技能研修センターを使用するときは、使用予定日の1か月前から前日までに、臨床技能研修センター使用承認申請書（別紙様式）を管理者に提出し、承認を得なければならない。

2 使用の承認を受けた者が、承認された使用日時等を変更するときは、事前に管理者の承認を得なければならない。

3 使用の承認を受けた者が、使用を中止しようとするときは、速やかに管理者に届け出なければならない。

(使用承認)

第11条 使用の承認は原則として予約先着順とする。ただし、第8条第1号から第6号までに規定するものについては、優先して使用させることができる。

2 予約の重複については、教育研究開発センターにて調整を実施し、管理者が決定を行う。

(使用承認の取り消し等)

第12条 使用の承認を受けた者が、次の各号のいずれかに該当するときは、使用承認を取り消すことがある。

- (1) 使用承認の目的に反したとき。
- (2) 目的以外の使用又は又貸しをしたとき。
- (3) 本規程の取り決めに違反したとき。
- (4) 管理・運営上の支障が生じたとき。

2 大学において実習の実施等緊急に必要なが生じたときは、使用承認の取り消し、又は使用の条件変更を行うことがある。

(使用方法)

第13条 臨床技能研修センターの使用にあたって、教育研究開発センターの事務取扱時間内のときは、使用時間直前に、同センター係員に身分証明書を提示し、使用承認の確認を受けたうえで使用すること。

2 臨床技能研修センターの使用にあたって、教育研究開発センターの事務取扱時間外のときは、事務取扱時間内に、同センター係員に身分証明書を提示し、使用承認の確認を受けたうえで、鍵（カード）の貸し出しを受け、使用者が解錠すること。

3 事務取扱時間外に臨床技能研修センターを使用した者は、使用を終え次第、戸締まりの確認をしたうえで、鍵を閉めて、速やかに鍵（カード）を教育研究開発センターに返却するものとする。

(自己責任)

第14条 臨床技能研修センターの使用にあたっては、実習指導教員の指導のもとに行うよう努めるものとする。

2 臨床技能研修センターの備品を使用する者は、事前に使用方法を理解・習熟していなければならない。なお、使用方法については、教育研究開発センターが適宜、講習会、ビデオ、説明書などを用いて研修を実施するものとする。

3 臨床技能研修センターの使用者に、万が一事故が生じたときの責任は、使用者本人が負うものとする。

(遵守事項)

第15条 臨床技能研修センターの使用者は、次の事項を遵守するとともに、管理者及び教育研究開発センター係員の指示に従わなければならない。

- (1) 常に良識ある行動をとり、秩序・風紀の維持及び設備・備品の保全に努めること。
- (2) 使用目的以外の用途には使用しないこと。
- (3) 設備・備品を断りなく改変しないこと。
- (4) 設備・備品を断りなく室外に移動しないこと。

- (5) 常に整理整頓に努めること。
- (6) 使用を終了したときは、設備・備品を使用前の状態に戻すこと。
- (7) 使用済みの注射針等の医療系廃棄物は、所定の容器に廃棄すること。
- (8) 設備・備品を損傷、汚損、紛失しないこと。
- (9) ごみは各自持ち帰ること。
- (10) 飲食・喫煙をしないこと。
- (11) 火気を使用しないこと。
- (12) 使用時間を厳守すること。
- (13) 使用を終えたときは、消灯、空調機器の停止、窓の戸締まりを行うこと。
- (14) 金銭等の貴重品は各自が責任をもって管理すること。
- (15) 設備・備品の取扱いは、各自が責任をもって行うこと。

(備品の使用と報告)

第16条 臨床技能研修センターの備品のうち、保管している消耗品等の使用を予定している者は、使用承認申請書にその旨を記載し、承認を得たうえで、教育研究開発センターの事務取扱時間中に同センター係員に申し出て、立ち会いのうえ、借り受けるものとする。また、使用後も同センター係員立ち会いのうえ、消耗品等の使用済数及び残数を確認のうえで、使用済分は破棄し、未使用分を返却するものとする。なお、使用終了が教育研究開発センターの事務取扱時間外のときは、日を改めて、事務取扱時間中に同センター係員に残数の確認を受け、未使用分を返却するものとする。

2 備品のうち、注射針等については、原則として教育研究開発センターの事務取扱時間外には、使用することができない。ただし、実習指導教員の指導のもとで使用するときは、この限りではない。

(貸し出し)

第17条 臨床技能研修センター外で備品の使用を希望する者は、事前に教育研究開発センターに申し出て、所定の手続きを行うものとする。ただし、同センター外で備品を使用できるのは、教育研究開発センター、卒後臨床研修センター等、学内組織が主催または共催する講習会等を実施するときに限る。

(費用負担)

第18条 臨床技能研修センターにおいて使用した消耗品及び施設・備品の運営に伴う費用負担は別途定めるものとする。

(損傷等の措置)

第19条 臨床技能研修センターの利用者が故意又は重大な過失によって、施設又は設備・備品等を損傷又は紛失したときは、直ちに教育研究開発センターに届け出て、その指示を受けなければならない。また、これによって生じた損害又はその原状回復に必要な経費を弁償しなければならない。

2 臨床技能研修センターの利用者は、使用した備品等に不具合があったときは、直ちに

教育研究開発センターに届け出るものとする。

(雑則)

第20条 この規程に定めるもののほか、管理・運営に関して必要な事項は、管理者が別に定めるものとする。

附 則

この規程は、平成18年11月14日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

臨床技能研修センターの利用方法

原則として月曜～金曜（祝日を除く）の午前9時から午後5時にご利用いただけます。

（上記以外でご利用される場合は、教育研究開発センターにご連絡ください。）

<予約方法>

使用予定日の1か月前から前日までに、使用を申請してください。ご使用には管理者の承認が必要です。ご予約は、

- (1) 使用承認申請書を教育研究開発センターへ提出、もしくはFAXで送信
- (2) オンライン上での申し込み（臨床技能研修センターホームページ内、予約申請フォームからの申し込み）が出来ます。

The image shows a screenshot of a web browser displaying a reservation form for the Clinical Skills Training Center. The page title is "臨床技能研修センター利用予約フォーム" (Clinical Skills Training Center Reservation Form). The form includes fields for "予約者氏名" (Reservor Name), "予約日時" (Reservation Date/Time), "予約内容" (Reservation Content), and "予約期間" (Reservation Period). There are also checkboxes for "予約内容" (Reservation Content) and "予約期間" (Reservation Period). The form is set against a light green background with a navigation menu at the top.

臨床技能研修センターHP 利用予約フォーム画像

臨床技能研修センター使用承認申請書

年 月 日

和歌山県立医科大学臨床技能研修センター管理者
教育研究開発センター長 様

所属部署 または 学年
申請者（使用責任者）氏名
連絡先（電話番号）

以下のとおり、使用の承認を申請いたします。

1. 使用の目的
2. 使用室名 使用を希望する部屋名にチェック記号をして下さい。
BLS・ACLS 研修室① BLS・ACLS 研修室②
基本的手技研修室 外科的手技研修室 模擬病室
3. 使用物品

4. 期間 年 月 日 時 分 から 年 月 日 時 分まで

5. 利用者数：約 人

利用者の内訳

団体名	学外者	学内者
	人	人
	人	人
	人	人

6. 使用する消耗品

物品名	数量
	個
	個
	個

7. 物品を施設外に持ち出して使用する場合

持ち出し場所	
返却責任者	

臨床技能研修センター使用承認申請書

<予約状況の確認>

予約日程表 (<http://www.wakayama-med.ac.jp/clinical/schedule/index.php>) で予約状況を確認してから申請してください。

申請後2～3日で承認作業を行います。予約が確定したことを予約日程表で確認してください（原則として予約先着順となります）。

センターの備品一覧

品名	個数	用途
ハートシム	1	救命処置訓練(気道確保、バックバルブマスク換気、除細動など)
レサシアン(全身タイプ)	1	BLS 訓練、AED 実技訓練
大型静脈穿刺パッド	30	静脈穿刺トレーニング
胸部ドレーンシミュレーター	1	胸腔ドレナージ手技練習
手背静脈注射シミュレーター	1	静脈穿刺手技練習
小児の手背静脈穿刺シミュレーター	1	乳幼児への静脈注射・採血、点滴静注手技練習
動脈穿刺シミュレーター	1	動脈穿刺・動脈血採取トレーニング
腰椎穿刺シミュレーター	1	腰椎穿刺、硬膜外麻酔、腰椎麻酔
CVC 穿刺シミュレーター	1	中心静脈穿刺手技練習
新型採血静脈穿刺シミュレーター “シンジョー”	4	採血手技練習、静脈内注射
点滴静注シミュレータ “Vライン”	2	静脈留置針を使用した末梢静脈路確保手技
縫合手技評価シミュレーター	1	外科縫合手技のトレーニング
神経血管腕モデル	1	
皮内注射シミュレーター	1	皮内注射手技練習
外科手洗い台	2	手洗いトレーニング(2人用)
グリッターバグセット	4	手洗いトレーニング
腹腔鏡	1	腹腔鏡手技トレーニング
MATT トレーナー	1	腹腔鏡手技トレーニング
内視鏡	1	内視鏡手技トレーニング
マーゲンシミュレーター	2	内視鏡手技トレーニング
眼底診察	5	眼の診察練習
耳の診察	5	耳の診察練習

品名	個数	用途
超音波トレーニングシミュレーター (UltraSim)	1	エコー診断のトレーニング
イチロー&ラング	1	心音・肺音聴診練習
心臓病診察(イチロー)	1	心音聴診練習
Mr.ラング(スピーカー有)	1	肺音聴診練習
Mr.ラング(スピーカー無)	1	肺音聴診練習
直腸診シミュレーター	4	直腸診トレーニング
男性導尿法シミュレーター	3	男性導尿法手技練習
ナーシングアン	5	患者ケアトレーニング
SimPad	1	患者対応シミュレーション
救急ケアシミュレーター(ECS)	1	患者ケアトレーニング
SimMan3G	1	患者ケアトレーニング
除細動機	1	
人工呼吸器(VELA)	1	救急ケアシミュレーターに接続可能
生体情報モニタ	1	救急ケアシミュレーターに接続可能
輸液ポンプ	1	点滴静脈内注射手技練習
シリンジポンプ	1	点滴静脈内注射手技練習
レサシアン(半身タイプ)	9	BLS 訓練、AED 実技訓練
リトルジュニア	7	BLS 訓練、AED 実技訓練
ベビーアン	7	BLS 訓練、AED 実技訓練
Ambubaby	1	BLS 訓練
チョーキングチャーリー	2	ハイムリッヒ法訓練
ポケットマスク	10	人工呼吸訓練
AEDトレーナー	17	AED 実技訓練(ルールダル:7、メトロニック:5、日本光電:5)
エアウェイトトレーニングシステム	2	気管内挿管手技練習

品名	個数	用途
SimNewB	1	新生児領域の教育カリキュラムに対応
新生児気道管理トレーナー	3	新生児の気道管理トレーニング
Neonatal Resuscitation Baby	3	新生児蘇生トレーニング
新生児挿管モデル	1	気管内挿管手技練習
気管切開トレーナー	1	気管切開手技練習
バックバルブマスク	10	成人用:3、小児用:2、乳児用:2、新生児用:3
男性骨盤	4	直腸診等練習
女性骨盤	3	女性骨盤部内診練習
前立腺触診	1	前立腺触診練習
前立腺触診シミュレーターB型	4	前立腺触診練習
乳房検診	3	乳房の触診練習
乳癌検診	4	乳癌触診練習
口腔ケアモデル“セイケツくん”	5	口腔内清潔手技練習
褥創ケアモデル	1	
吸引シミュレーター“Qちゃん”	2	吸引手技練習
吸引モデルⅡ型	2	吸引手技練習
携帯用小型吸引器	2	吸引手技練習
大型吸引器	2	吸引手技練習



平成24年度 スキルストラボ利用実績一覧

使用期間	使用団体名	使用の目的	使用物品	持出	使用者数		主たる使用者の職名
					使用者の内訳 字内	計	
4月3日 13時～15時	地域医療支援センター	平成24年度研修医オリエンテーション(感染管理、スキルストラボ実習)	外科手洗台、グリッターバグ、採血シミュレーター“シンジョー”		60	0	医師
4月5日 12時30分～16時	地域医療支援センター	平成24年度研修医オリエンテーション(感染管理、スキルストラボ実習)	外科手洗台、グリッターバグ、採血シミュレーター“シンジョー”		60	0	医師
4月6日 9時～20時	卒後臨床研修センター	新規採用研修医オリエンテーション(JATEC、ACLS)	レサシアン11体、AEDトレーナー11台、ハートシム1体、気道管理トレーナー1台、除細動機		60	0	医師
4月6日 17時～11日 17時	医学部5年生	医療問題ロールプレイ	ベッド、ストレッチャー、折畳ベッド、ベビーアーン1体	有	85	0	学生
4月8日 9時～17時	卒後臨床研修センター	採血練習	駆血帯、採血用枕など		2	0	医師
4月9日 10時～10時30分	卒後臨床研修センター	トレーニング	駆血帯、採血用枕など		2	0	医師
4月9日 13時～17時	卒後臨床研修センター	採血練習	駆血帯、採血用枕など		2	0	医師
4月10日 13時～15時	卒後臨床研修センター	採血練習	駆血帯、採血用枕など		2	0	医師
4月11日 16時～5月7日 17時	卒後臨床研修センター	縫合の練習	縫合用模擬皮膚、持針器、はさみ	有	1	0	医師
4月12日 15時30分～16時30分	卒後臨床研修センター	縫合の練習	縫合用模擬皮膚、持針器、はさみ		2	0	医師
4月12日 16時～16時30分	卒後臨床研修センター	採血練習	駆血帯、採血用枕など		2	0	医師
4月12日 16時～16時30分	卒後臨床研修センター	採血練習	駆血帯、採血用枕など		2	0	医師
4月17日 12時30分～15時30分	教育研究開発センター	医学部1年生BLS講習会	レサシアン9体、AEDトレーナー9台、マット20枚		110	0	学生
4月17日 12時30分～14時	卒後臨床研修センター	エコー手技練習	エコー		2	0	医師
4月17日 15時40分～17時	卒後臨床研修センター	縫合の練習	縫合用模擬皮膚、持針器、はさみ		2	0	医師
4月18日 16時～17時30分	第二内科	学生指導	内視鏡、マーガジンシミュレーター、内視鏡シミュレーター		3	0	医師
4月19日 10時～12時	卒後臨床研修センター	エコー手技練習	エコー、エコーシミュレーター		2	0	医師
4月20日 10時30分～16時	救急集中治療部	練習	CVC穿刺シミュレーター	有	3	0	医師
4月20日 14時30分～18時	卒後臨床研修センター	採血練習	駆血帯、採血用枕など		2	0	医師
4月23日 10時30分～5月23日 13時	卒後臨床研修センター	縫合の練習	縫合用模擬皮膚、持針器、はさみ	有	1	0	医師
4月23日 13時30分～5月23日 17時	卒後臨床研修センター	縫合の練習	縫合用模擬皮膚、持針器、はさみ	有	1	0	医師
4月23日 21時～24時	卒後臨床研修センター	CVC穿刺の手技練習	CVC穿刺シミュレーター、エコー		3	0	医師
4月24日 16時20分～21時	卒後臨床研修センター	CVC穿刺の手技練習	CVC穿刺シミュレーター、エコー		3	0	医師
4月25日 12時～17時	救急集中治療部	メディカルラリートレーニング	レサシアン1体、AEDトレーナー1台、ハートシム1体、除細動機、救急カート		4	0	医師
4月26日 13時30分～17時	助産学専攻科	助産学専攻科講義	エコーシミュレーター	有	9	0	学生
4月26日 14時～18時	看護部	新人研修	採血シミュレーター“シンジョー”2台、ナースングアン3体、車いす5台、プロジェクター2台、スクリーン1台		80	0	看護師
4月27日 11時～5月24日 13時	卒後臨床研修センター	縫合の練習	縫合用模擬皮膚、持針器、はさみ	有	1	0	医師
4月27日 16時～19時	教育研究開発センター	和医大臨床技能サークル	エコー、心音聴診シミュレーター“イナロー”、プロジェクター、スクリーン	有	20	0	学生
4月27日 16時～29日 20時	日本ACLS協会和歌山トレーニングサイト	2次救命処置講習会	ハートシム1体、レサシアン9体、AEDトレーナー9台、気道管理トレーナー、バックバルブマスク4個、スクリーン、プロジェクター、パソコン		25	10	医師

使用申請件数(4月) 28件 549人 10人 559人

平成24年度 スキルストラボ利用実績一覧

使用期間	使用団体名	使用の目的	使用物品	持出	使用者数		主たる使用者の職名
					使用後の内訳	計	
				字内	字外		
5月1日 14時～17時	中央放射線部	練習	Mr.Lung	1	0	1	医師
5月1日 17時30分～20時	第一内科	研修意向への内視鏡研修	内視鏡シミュレーター、内視鏡、マーゲンシミュレーター	7	0	7	医師
5月2日 12時～6月4日 17時	卒後臨床研修センター	縫合の練習	縫合用模擬皮膚、持針器、はさみ	1	0	1	医師
5月3日 12時～23時	和歌山メディカルラー参加チーム	メデイカルラーレトニング	ハートシム、AEDトレーナー、除細動機、救急カート	2	2	4	医師
5月7日 20時～23時	卒後臨床研修センター	CVC穿刺の手法練習	CVCシミュレーター	3	0	3	医師
5月8日 14時～16時	第二内科	研修医教育	内視鏡シミュレーター、内視鏡、マーゲンシミュレーター	4	0	4	医師
5月10日 14時～18時	看護部	新人研修	採血シミュレーター“シンジョー”2台、ナーシングアン3体、車いす5台、プロジェクト2台、スクリーン1台	80	0	80	看護師
5月11日 17時30分～21時	和歌山メディカルラー参加チーム	メデイカルラーレトニング	ハートシム、レサシアン2体、挿管セット	2	3	5	看護師
5月12日 11時～19時	総合周産期母子医療センター	新生児蘇生講習会	新生児人形3体、新生児挿管人形3体、吸引器4台	20	30	50	医師
5月13日 17時～22時	和歌山メディカルラー参加チーム	メデイカルラーレトニング	ハートシム、レサシアン、挿管セット、除細動機	2	3	5	看護師
5月14日 16時～16日 13時	教育研究開発センター	学外での講義	AEDトレーナー1台	10	0	10	看護師
5月14日 16時～19時	教育研究開発センター	和医大臨床技能サークル	採血シミュレーター“シンジョー”4台、内視鏡シミュレーター	20	0	20	学生
5月15日 14時～16時	中央放射線部	練習	Mr.Lung、イチョー	1	0	1	医師
5月17日 14時～18時	看護部	新人研修	採血シミュレーター“シンジョー”2台、ナーシングアン3体、車いす5台、プロジェクト2台、スクリーン1台	80	0	80	看護師
5月18日 11時～22日 9時	保健看護学部	1年生講義(学内演習)	グリッターバグ3台	82	0	82	学生
5月19日 9時～13時	卒後臨床研修センター	紀州レジデントセミナー	なし	20	10	30	医師
5月19日 15時～19時	和歌山メディカルラー参加チーム	メデイカルラーレトニング	ハートシム、レサシアン2体、挿管物品	2	2	4	看護師
5月21日 16時～30日 9時	教育研究開発センター	学外での講義	バイタルサインペビー	120	0	120	看護師
5月21日 17時～21時	和歌山メディカルラー参加チーム	メデイカルラーレトニング	ハートシム、挿管セット、モニター	3	2	5	看護師
5月22日 13時～23日 9時	看護部	静脈注射留置研修	採血シミュレーター“シンジョー”1台	8	0	8	看護師
5月22日 15時30分～16時	卒後臨床研修センター	ルート確保の練習	駆血帯、採血用枕など	2	0	2	医師
5月23日 14時～18時	看護部	新人研修	採血シミュレーター“シンジョー”2台、ナーシングアン3体、車いす5台、プロジェクト2台、スクリーン1台	80	0	80	看護師
5月24日 13時～16時30分	助産学専攻科	新生児蘇生の講義	新生児人形2体、新生児挿管人形2体、吸引器2台	13	0	13	学生
5月24日 14時30分～15時	卒後臨床研修センター	静脈穿刺レトニング	駆血帯、採血用枕など	2	0	2	医師
5月25日 16時～28日 13時	麻酔科	エコーガイド下中心静脈穿刺シミュレーション教育	CVCシミュレーター2台	10	0	10	医師
5月27日 9時～18時30分	脳神経外科	和歌山SLS	なし	10	20	30	医師
5月29日 13時30分～15時30分	中央放射線部	トレーニング	Mr.Lung、イチョー	1	0	1	医師
5月29日 17時～20時	第一内科	大腸カメラの研修	大腸内視鏡シミュレーター、内視鏡	6	0	6	医師
5月30日 14時30分～17時	第一内科	大腸カメラの研修	大腸内視鏡シミュレーター、内視鏡	3	0	3	医師
5月30日 15時～17時	救急集中治療部	学生ACLS	SimMa3G、救急カート、徐細動機	4	0	4	医師
5月31日 12時30分～19時	和歌山メディカルラー参加チーム	メデイカルラーレトニング	ハートシム、レサシアン、ペビーアン、AEDトレーナー、除細動機、モニター、挿管セット	2	2	4	看護師

使用申請件数(5月) 31件 601人 74人 675人

平成24年度 スキルストラボ利用実績一覧

使用期間	使用団体名	使用の目的	使用物品	持出	使用者数		主たる使用者の職名
					使用の内訳 字内	計 字外	
6月1日 13時～14時	第二内科	内視鏡手技練習	内視鏡シミュレーター、内視鏡、マーゲンシミュレーター		2	0	医師
6月1日 15時～17時	救急集中治療部	学生ACLS	SimMa3G、救急カート、徐細動機		4	0	医師
6月4日 12時～17時	卒後臨床研修センター	縫合の練習	縫合用模擬皮膚、持針器、はさみ	有	1	0	医師
6月5日 11時～12時	第二内科	内視鏡手技練習	内視鏡シミュレーター、内視鏡、マーゲンシミュレーター		1	0	医師
6月5日 16時～17時	第二内科	内視鏡手技練習	内視鏡シミュレーター、内視鏡、マーゲンシミュレーター		2	0	医師
6月6日 13時～16時	教育研究開発センター	和歌山SPの会			7	15	一般来訪者
6月6日 16時～19時30分	看護部	クリティカル研修	ナーシングガン2体、ハートシム		20	0	看護師
6月8日 10時～15時	和歌山病院	看護師の卒後研修	ハートシム、気道管理トレーナー、Mr.Lung、除動機、モニタ、救急カート		1	7	看護師
6月8日 17時～9日 21時	救急集中治療部	心肺蘇生法講習会	レザリアン9体、AEDトレーナー9台、エアウェイトレーニングシステム2台、気道管理トレーナー、ハートシム		10	30	医師
6月11日 17時～19時	教育研究開発センター	和医大臨床技能サークル	SimMan3G、ECG、エアウェイトレーニングシステム2台、気道管理トレーナー		30	0	学生
6月12日 9時～15日 17時	附属病院CCU	デモンストレーション	ハートシム	有	5	0	看護師
6月12日 14時～16時	第二内科	学生の教育	内視鏡シミュレーター、内視鏡、マーゲンシミュレーター		6	0	医師
6月12日 17時～21時	医療安全推進室	初期研修医対象実技講習会	SimMan3G		14	0	医師
6月13日 13時40分～15時	救急集中治療部	学生の教育	レザリアン1体、AEDトレーナー1台		4	0	医師
6月15日 12時～17日 17時	卒後臨床研修センター	縫合の練習	縫合用模擬皮膚、持針器、はさみ	有	1	0	医師
6月16日 9時～17日 17時	卒後臨床研修センター	JCS-ITC	レザリアン4体、ペビアン4体、AEDトレーナー4台、チャョーキングチャージャー2体		20	20	医師
6月19日 13時30分～14時30分	中央放射線部	トレーニング	Mr.Lung		1	0	医師
6月21日 16時30分～18時	第二内科	内視鏡手技練習	内視鏡シミュレーター、内視鏡、マーゲンシミュレーター、大腸内視鏡シミュレーター		2	0	医師
6月22日 13時30分～15時	卒後臨床研修センター	超音波画像診断トレーニング	エコーシミュレーター		1	0	医師
6月24日 14時～23時	卒後臨床研修センター	内視鏡手技練習	内視鏡シミュレーター、内視鏡、マーゲンシミュレーター、大腸内視鏡シミュレーター		1	0	医師
6月27日 13時～15時	救急集中治療部	学生ACLS	SimMa3G、救急カート、徐細動機		1	0	医師
6月29日 12時～7月2日 15時	和歌山ACLS研究会	2次救命処置講習会	ハートシム、AEDトレーナー7台	有	15	60	医師

使用申請件数(6月) 22件 149人 132人 259人

平成24年度 スキルストラボ利用実績一覧

使用期間	使用団体名	使用の目的	使用物品	持出	使用者数			主たる使用者の職名
					使用者の内訳 字内	字外	計	
7月1日 11時～18時	総合周産期母子医療センター	新生児組成法講習会	新生児人形3体、新生児挿管人形3体、吸引器3台		20	30	50	医師 5
7月2日 17時～19時	教育研究開発センター	和医大臨床技能サークル	SimMan3G、ECS、エアウェイトレーニングシステム2台、気道管理トレーナー		30	0	30	学生 6
7月3日 10時30分～8月2日 17時	卒後臨床研修センター	縫合の練習	縫合用模擬皮膚、持針器、はさみ	有	1	0	1	医師
7月3日 17時～31日 17時	卒後臨床研修センター	縫合の練習	縫合用模擬皮膚、持針器、はさみ	有	1	0	1	医師
7月4日 9時～6日 13時	救急集中治療部	心肺蘇生法講習会	レザリアン3体、AEDトレーナー3台、バックバルブマスク3個	有	1	30	31	医師
7月4日 20時～23時	卒後臨床研修センター	CVC穿刺の手法練習	CVCシミュレーター1台		5	0	5	医師
7月5日 17時～8月5日 17時	卒後臨床研修センター	縫合の練習	縫合用模擬皮膚、持針器、はさみ	有	1	0	1	医師
7月6日 15時～16時	教育研究開発センター	大学説明会	SimMan3G、プロジェクター、スクリーン、PC		5	20	25	一般来訪者
7月7日 12時～8日 17時	卒後臨床研修センター	CVC穿刺の手法練習	CVCシミュレーター1台		5	0	5	医師
7月11日 15時～31日 17時	卒後臨床研修センター	縫合の練習	縫合用模擬皮膚、持針器、はさみ	有	1	0	1	医師
7月12日 13時30分～15時30分	救急集中治療部	学生ACLS	SimMa3G、救急カート、徐細動機		5	0	5	医師
7月13日 16時50分～17時30分	第二内科	内視鏡手法練習	内視鏡シミュレーター、内視鏡、マーゲンシミュレーター		2	0	2	医師
7月17日 15時～8月17日 17時	神経内科	手法練習	血圧計2台	有	1	0	1	医師
7月18日 13時～16時	教育研究開発センター	和歌山SPPの会			7	23	30	一般来訪者
7月20日 16時～18時	第二内科	内視鏡手法練習	内視鏡シミュレーター、内視鏡、マーゲンシミュレーター		2	0	2	医師
7月21日 12時～22日 20時	卒後臨床研修センター	CVC穿刺の手法練習	CVCシミュレーター1台		5	0	5	医師
7月21日 12時～22日 20時	卒後臨床研修センター	内視鏡手法練習	内視鏡シミュレーター、内視鏡、マーゲンシミュレーター		2	0	2	医師
7月23日 9時～25日 17時	附属病院CCU	ACLSデモンストレーション	ハートシム、バックバルブマスク1個	有	3	0	3	看護師
7月25日 13時30分～15時30分	救急集中治療部	学生ACLS	SimMa3G、救急カート、徐細動機		5	0	5	医師
7月25日 17時30分～8月10日 17時	附属病院7階東	家族指導	吸引モテルII型1台	有	3	0	3	看護師
7月26日 10時～13時	産科婦人科	助産学専攻科講義	超音波シミュレーター		1	15	16	学生
7月28日 9時～29日 18時	観光医学研究部門	AED講習会	レザリアン7体、リトルジュニア7体、チャョーキングチャャーリー2体、AEDトレーナー7台		10	30	40	一般来訪者
7月30日 17時～21時	医療安全推進室	第5回エコーガイド下CVC穿刺講習会	CVCシミュレーター2台、プロジェクター1台、スクリーン1台		20	0	20	医師

使用申請件数(7月) 23件 136人 148人 284人

平成24年度 スキルストラボ利用実績一覧

使用期間	使用団体名	使用の目的	使用物品	持出	使用者数		主たる使用者の職名
					使用の内訳 字内	計	
8月1日 16時～19時30分	看護部	クリティカル研修	ナーシングアーン2体、ハートシム、除細動機、生態情報モニタ、救急カート		20	0	20 看護師
8月1日 18時30分～20時30分	卒後臨床研修センター	CVC穿刺の手法練習	CVCシミュレーター1台		2	0	2 医師
8月2日 17時30分～19時	第一内科	内視鏡手法練習	内視鏡シミュレーター、内視鏡、マーゲンシミュレーター		10	0	10 医師
8月2日 19時～23時	卒後臨床研修センター	CVC穿刺の手法練習	CVCシミュレーター1台、エコー		3	0	3 医師
8月3日 13時30分～14時	卒後臨床研修センター	内視鏡手法練習	内視鏡シミュレーター、内視鏡、マーゲンシミュレーター		2	0	2 医師
8月3日 16時30分～19時	麻酔科	気道管理トレーニング	気道管理トレーナー1台、エアウェイトレーニングシステム2台、プロジェクター、スクリーン		20	0	20 医師
8月7日 14時～17時	第二内科	研修医教育	内視鏡シミュレーター、内視鏡、マーゲンシミュレーター		5	0	5 医師
8月8日 17時～16日 17時	放射線科外来	注射針の安全装置を正しく使うための指導・練習	採血シミュレーター“シンジョー”1台	有	10	0	10 看護師
8月9日 14時～15日 17時	第一内科外来	採血練習	採血シミュレーター“シンジョー”1台	有	10	0	10 看護師
8月10日 14時～16時	卒後臨床研修センター	内視鏡手法練習	内視鏡シミュレーター、内視鏡、マーゲンシミュレーター		4	0	4 医師
8月18日 15時～17時	教育研究開発センター	医学部オープンキャンパス	SimMan3G、レサシアン11体、AEDトレーナー11台、グリッターバッグ4台、心音聴診シミュレーター		10	140	150 一般来訪者
8月19日 9時～17時	卒後臨床研修センター	JCS→ITC	レサシアン8体、AEDトレーナー8台、バックバルブマスク4個		20	20	40 医師
8月21日 11時～11時30分	第二内科	内視鏡手法練習	内視鏡シミュレーター、内視鏡、マーゲンシミュレーター		2	0	2 医師
8月22日 19時～24時	卒後臨床研修センター	中心静脈カテーテル挿入手技練習	CVCシミュレーター、エコー		2	0	2 医師
8月24日 17時～27日 9時	救急集中治療部	2次救命処置講習会	ハートシム1体、点滴台	有	5	45	50 医師
8月27日 9時30分～31日 17時	CCU	BLS・ACLSの練習	ハートシム1体、バックバルブマスク1個	有	5	0	5 看護師
8月30日 12時～31日 17時	11階東棟棟	勉強会	バックバルブマスク1個	有	4	0	4 看護師
8月31日 17時～21時	医療安全推進室	胸腔トレーニング実技講習会	胸部トレーニングシミュレーター1台		20	0	20 医師

使用期間		使用の目的	使用物品	持出	使用者数		主たる使用者の職名
使用期間	使用団体名				使用の内訳 字内	計	
9月5日 16時～19時	教育研究開発センター	和医大臨床技能サークル	縫合用模擬皮膚、持針器、はさみ	有	20	0	20 学生
9月7日 17時～12日 17時	7階西病棟	ACLS予モンスレション	ハートシム	有	6	0	6 看護師
9月10日 9時～10月10日 17時	卒後臨床研修センター	縫合の練習	縫合用模擬皮膚、持針器、はさみ	有	2	0	2 医師
9月10日 12時～10月10日 17時	卒後臨床研修センター	縫合の練習	縫合用模擬皮膚、持針器、はさみ	有	2	0	2 医師
9月11日 12時～21日 12時	9階東病棟	技術研修	静脈採血シミュレーター“シンジョー”1台	有	4	0	4 看護師
9月11日 16時～13日 16時	看護部	復職支援研修	静脈採血シミュレーター“シンジョー”1台	有	2	2	4 看護師
9月12日 13時～16時	教育研究開発センター	和歌山SPの会			7	20	27 一般来訪者
9月15日 7時30分～16日 18時	卒後臨床研修センター	BLS・ACLSの練習	レサシアン8体、AEDトレーナー8台、ベビーアーン7体、チャョーキングチャャーリー2台、バックバルブマスク4個		20	30	50 医師
9月20日 13時30分～15時30分	救急集中治療部	学生ACLS	SimMa3G、救急カート、除細動機		5	0	5 医師
9月20日 14時～16時	教育研究開発センター	外部からの見学			2	5	7 一般来訪者

使用申請件数(8月) 18件 154人 205人 359人

使用申請件数(9月) 10件 70人 57人 127人

平成24年度 スキルストラボ利用実績一覧

使用期間	使用団体名	使用の目的	使用物品	使用者数		主たる使用者の職名		
				使用の内訳 字内	計			
10月1日 12時～15日 13時	総合周産期母子医療センター	新生児蘇生法講習会	新生児人形3体、新生児挿管人形3台	有	10	30	40	医師
10月3日 9時～16時	看護部	中堅看護師の救急処置研修のため	ハートシム1体、レサシアン11体、AEDトレーナー11台、ナーシンググアン1体、生体情報モニタ、除細動機、救急カート、バックバルブマスク3個		5	45	50	看護師
10月5日 13時～9日 9時	12階東病棟	静脈留置針トレーナー育成	静脈留置針トレーナー“シンジヨ”1台	有	7	0	7	看護師
10月9日 13時～11月9日 17時	卒後臨床研修センター	縫合の練習	縫合用模擬皮膚、持針器、はさみ	有	1	0	1	医師
10月10日 9時～18日 17時	CCU	ACLS勉強会	ハートシム1体、バックバルブマスク1個	有	8	0	8	看護師
10月10日 9時～19日 17時	救急集中治療部	研修	BLS用マット6枚、大型静脈穿刺バンド	有	1	5	6	医師
10月11日 11時～20時	経理課	泌尿器科 講演会	ダヴィンチトレーナー	有	10	80	90	医師
10月11日 18時30分～21時	卒後臨床研修センター	CVC穿刺の手法練習	CVC穿刺シミュレーター、エコー	有	2	0	2	医師
10月12日 13時～17時	卒後臨床研修センター	縫合の練習	縫合用模擬皮膚、持針器、はさみ	有	1	0	1	医師
10月12日 16時30分～19時	看護部	クリティカル研修	ナーシンググアン2体、ハートシム、除細動機、生体情報モニタ、救急カート		20	0	20	看護師
10月12日 17時～18時	泌尿器科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		1	0	1	医師
10月13日 9時～20時	経理課	ダヴィンチトレーナー内覧会	ダヴィンチトレーナー		10	50	60	医師
10月16日 13時30分～17日 17時30分	看護部	看護技術eラーニング作成	静脈採血シミュレーター“シンジヨ”1台	有	5	0	5	看護師
10月16日 16時30分～18時	泌尿器科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		1	0	1	医師
10月17日 17時～19時	教育研究開発センター	和医大臨床技能サークル	気道管理トレーナー1台、エアウェイトレーニングシステム2台、プロジェクター、スクリーン		10	0	10	学生
10月18日 13時～29日 17時	卒後臨床研修センター	縫合の練習	縫合用模擬皮膚、持針器、はさみ	有	1	0	1	医師
10月18日 10時～17時	救急集中治療部	研修医への教育	CVC穿刺シミュレーター、気管切開トレーナー	有	10	0	10	医師
10月18日 15時～30日 17時	9階西病棟	BLS研修	レサシアン1体、気道管理トレーナー、挿管セット	有	15	0	15	看護師
10月18日 17時～19時	泌尿器科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		1	0	1	医師
10月19日 17時～20時	6階西病棟	新生児蘇生の学習	SIMNewB、新生児蘇生人形3体、バックバルブマスク3個		16	0	16	看護師
10月20日 9時～21日 18時	卒後臨床研修センター	JCS-ITC	レサシアン4体、AEDトレーナー4台、ペビーアン7体、チャョーキングチャャーリー2体		20	20	40	医師
10月22日 15時～16時	教育研究開発センター	山東大学 見学	ECS、心音シミュレーター“イチロー”、静脈採血シミュレーター“シンジヨ”		3	10	13	一般来訪者
10月22日 17時～20時	6階西病棟	新生児蘇生の学習	SIMNewB、新生児蘇生人形3体、バックバルブマスク3個		16	0	16	看護師
10月23日 17時～20時30分	第二外科	腹腔鏡トレーニング	腹腔鏡シミュレーター“Promis”		2	0	2	医師
10月24日 8時～18時30分	看護部	研修	ECS、除細動機、生体情報モニタ、救急カート、シリンジポンプ、輸液ポンプ		40	1	41	看護師
10月24日 17時～20時30分	第二外科	腹腔鏡トレーニング	腹腔鏡シミュレーター“Promis”		2	0	2	医師
10月24日 15時～25日 17時	6階西病棟	勉強会	レサシアン1体、エアウェイトレーニングシステム1台、バックバルブマスク、挿管セット	有	10	0	10	看護師
10月24日 17時～19時	泌尿器科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		2	0	2	医師
10月25日 9時～30日 17時	7階西病棟	静脈留置針の留置技術研修	静脈採血シミュレーター“シンジヨ”1台	有	3	0	3	看護師
10月25日 15時～16時	第二内科	内視鏡手技練習	内視鏡、マーゲンシミュレーター		2	0	2	医師
10月25日 16時30分～19時	泌尿器科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		1	0	1	医師
10月27日 9時～10月28日 20時30分	第二外科	腹腔鏡トレーニング	腹腔鏡シミュレーター“Promis”		2	0	2	医師
10月30日 15時30分～11月30日 17時	卒後臨床研修センター	縫合の練習	縫合用模擬皮膚、持針器、はさみ	有	1	0	1	医師

使用申請件数(10月) 33件 239人 241人 480人

平成24年度 スキルズラボ利用実績一覧

使用期間	使用団体名	使用の目的	使用物品	持出	使用者数		主たる使用者の職名
					使用の内訳	計	
					字内	字外	
11月1日 9時～17時	教育研究開発センター	医学部試験	ナーシングアーン5体、静脈採血シミュレーター”シンジョー”4台	有	80	15	学生
11月1日 16時～19時	第二外科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		4	0	医師
11月2日 10時～3日 16時	和医大臨床技能サークル	大講堂でのBLS講習会	レザシアン6体、AEDトレーナー6台		10	15	学生
11月2日 9時30分～10時30分	第二外科	ダヴィンチトレーニング	レザシアントレーナー		1	0	医師
11月2日 11時～5日 17時	医学部3年生	大講堂での医療企画	握力計2台、高齢者体験スーツ2セット	有	10	15	学生
11月2日 17時～5日 9時	和歌山ACLS研究会	2次救命処置講習会	ハードシム、AEDトレーナー4台、点滴棒6組	有	5	20	医師
11月2日 18時～21時30分	第二外科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		10	0	医師
11月3日 16時～4日 24時	卒後臨床研修センター	内視鏡手技練習	内視鏡シミュレーター”アキュタッチ”		3	0	医師
11月5日 9時～7日 17時	9階西病棟	BLS研修	気道管理トレーナー、挿管セット、バックバルブマスク	有	8	0	看護師
11月5日 9時～12日 17時	9階西病棟	静脈注射トレーニング	静脈採血シミュレーター”シンジョー”1台	有	4	0	看護師
11月5日 18時～21時30分	第二外科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		10	0	医師
11月6日 9時～13時	救急集中治療部	心肺蘇生術指導	レザシアン2体	有	2	10	一般来訪者
11月6日 18時～21時30分	第二外科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		10	0	医師
11月7日 18時～21時30分	第二外科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		10	0	医師
11月7日 11時～12月7日 17時	卒後臨床研修センター	縫合の練習	縫合用模擬皮膚、持針器、はさみ	有	1	0	医師
11月8日 18時～21時30分	第二外科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		10	0	医師
11月9日 9時～15時	救急集中治療部	心肺蘇生術指導	レザシアン3体	有	2	60	一般来訪者
11月9日 18時～21時30分	第二外科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		10	0	医師
11月10日 9時～23時	第二内科	内視鏡手技練習	内視鏡、マーガンジミュレーター	有	2	0	医師
11月12日 12時～13日 17時	CCU	ACLSの実技練習	ハードシム、挿管セット、バックバルブマスク	有	15	0	看護師
11月12日 18時～21時30分	第二外科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		10	0	医師
11月13日 13時～19時	感染制御部	手洗い講習会	手洗い台、ストップウォッチ		30	0	病院職員
11月13日 19時～21時30分	第二外科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		10	0	医師
11月14日 16時～19時	教育研究開発センター	和医大臨床技能サークル	胸部トレーニンシミュレーター1台、プロジェクトター、スクリーン		15	0	学生
11月14日 17時30分～19時30分	5階西病棟	BLS研修	レザシアン(全身タイプ)、バックバルブマスク		3	0	看護師
11月14日 19時～21時30分	第二外科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		10	0	医師
11月15日 18時～21時30分	第二外科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		10	0	医師
11月16日 17時30分～19時	NICU	導尿・膀胱内留置カテーテルの実技演習	ナーシングアーン2体、導尿セット		8	0	看護師
11月16日 18時～21時30分	第二外科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		10	0	医師
11月17日 9時～18日 20時	救急集中治療部	研修会	なし		20	60	医師
11月19日 12時～20日 17時	CCU	ACLSの実技練習	ハードシム、挿管セット、バックバルブマスク	有	15	0	看護師
11月19日 18時～21時30分	第二外科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		10	0	医師
11月20日 10時～21日 10時	看護部	看護手順ビデオ撮影	手背静脈穿刺シミュレーター	有	5	0	看護師
11月20日 18時～21時30分	第二外科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		10	0	医師
11月21日 14時～16時	教育研究開発センター	和歌山SPの会			7	20	一般来訪者
11月21日 18時～21時30分	第二外科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		10	0	医師
11月22日 17時30分～23日 9時	6階西病棟	気管挿管、除細動機練習	気道管理トレーナー、挿管セット、バックバルブマスク、除細動機		2	0	看護師
11月22日 18時～21時30分	第二外科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		10	0	医師
11月23日 18時～21時30分	第二外科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		10	0	医師
11月26日 18時～21時30分	第二外科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		10	0	医師
11月27日 17時00分～19時00分	5階西病棟	BLS研修	レザシアン(全身タイプ)、バックバルブマスク		8	0	看護師
11月27日 18時～21時30分	第二外科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		10	0	医師
11月28日 17時30分～21時	6階西病棟	看護技術習得のため	人工呼吸器		2	0	看護師
11月28日 18時～21時30分	泌尿器科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		10	0	医師
11月29日 18時～21時30分	泌尿器科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		10	0	医師
11月30日 17時～21時	医療安全推進室	研修医対象スキルラボレクチャージャージャーナル	腰椎穿刺シミュレーター、プロジェクトター、スクリーン		15	0	医師
11月30日 18時～21時30分	泌尿器科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		10	0	医師

使用申請件数(11月) 47件 487人 215人 702人

平成24年度 スキルスラボ利用実績一覧

使用期間	使用団体名	使用の目的	使用物品	持出	使用者数		主たる使用者の職名
					使用の内訳 字内	計	
12月1日 9時～17時	第一内科	大腸内視鏡トレーニング	大腸内視鏡シミュレーター、内視鏡		3	0	医師 3
12月5日 13時～14時	医学部5年生	ポリクリ実習	エアウェイトレーニングシステム、気道管理トレーナー、挿管セット、バックバルブマスク		4	0	学生 4
12月5日 16時～19時30分	看護部	クリティカル研修	ナーシングアング2体、ハートシム、スクリーン、プロジェクトター、パソコン		20	0	看護師 20
12月5日 17時～19時	泌尿器科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		1	0	医師 1
12月8日 16時～9日 18時30分	医療安全推進部	AHA認定一次救命処置講習会	レザシアン7体、リトルジュニア7体、ベビーアン7体、チャョーキングチャージャー、AEDトレーナー7台		10	10	医師 20
12月11日 17時～14日 21時30分	第二外科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		15	0	医師 15
12月11日 17時30分～20時30分	NICU	導尿・膀胱内留置カテーテルの実技演習	ナーシングアング2体		4	0	看護師 4
12月11日 9時～18日 17時	CCU	BLS研修	ハートシム、バックバルブマスク1個	有	4	0	看護師 4
12月12日 13時～16時	教育研究開発センター	和歌山SPの会			7	21	一般来訪者 28
12月12日 16時～14日 17時	7階東病棟	撮影	ベビーアン	有	1	0	看護師 1
12月12日 17時～21時30分	第二外科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		15	0	医師 15
12月13日 17時～21時30分	第二外科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		15	0	医師 15
12月14日 13時～15日 17時	卒後臨床研修センター	縫合の練習	縫合用模擬皮膚、持針器、はさみ	有	1	0	医師 1
12月14日 17時～21時30分	第二外科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		15	0	医師 15
12月14日 17時～16日 9時	麻酔科	セデーションコース	SimMan3G、ECG、生体情報モニタ、エアウェイトレーニングシステム、気道管理トレーナー		20	12	医師 32
12月16日 9時～18時	卒後臨床研修センター	BLS講習会	レザシアン8体、ベビーアン8体、チャョーキングチャージャー2体、AEDトレーナー8台		20	20	医師 40
12月17日 16時～21日 18時30分	7階東病棟	新人技術指導	ナーシングアング1体、男性導尿シミュレーター2台	有	10	0	看護師 10
12月17日 17時～21時30分	第二外科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		20	0	医師 20
12月18日 9時～17時	看護部	看護手順ビデオ撮影	手背静脈注射シミュレーター	有	5	0	看護師 5
12月18日 17時～21時30分	第二外科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		20	0	医師 20
12月19日 17時～21時30分	第二外科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		20	0	医師 20
12月20日 15時～18時30分	看護部	研修	レザシアン7体、AEDトレーナー7台		40	0	看護師 40
12月20日 17時～21時30分	第二外科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		20	0	医師 20
12月21日 9時～28日 17時	CCU	ACLS勉強会	ハートシム、バックバルブマスク	有	4	0	看護師 4
12月21日 13時～15時	泌尿器科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		1	0	医師 1
12月21日 17時～21時30分	第二外科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		20	0	医師 20
12月25日 17時～21時30分	第二外科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		20	0	医師 20
12月26日 17時～21時30分	第二外科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		20	0	医師 20
12月26日 17時30分～20時30分	NICU	導尿・膀胱内留置カテーテルの実技演習	ナーシングアング2体		4	0	看護師 4
12月27日 17時～21時30分	第二外科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		20	0	医師 20
12月28日 16時～19時00分	7階東病棟	新人技術指導	ナーシングアング1体、男性導尿シミュレーター2台	有	10	0	看護師 10
12月28日 17時～21時30分	第二外科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		20	0	医師 20
12月29日 10時～11月4日 12時	第二外科	腹腔鏡トレーニング	腹腔鏡シミュレーター“Promis”		1	0	医師 1

使用申請件数(12月) 33件 410人 63人 473人

平成24年度 スキルストラボ利用実績一覧

使用期間	使用団体名	使用の目的	使用物品	持出	使用者数		主たる使用者の職名
					使用者の内訳 字内	計 字外	
1月4日 9時～10時 17時	CCU	ACLSの練習	ハートシム、バックバルブマスク1個	有	3	0	看護師
1月5日 9時～17時	第二外科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		1	0	医師
1月5日 9時～6日 12時	第二外科	腹腔鏡トレーニング	腹腔鏡シミュレーター“Promis”、腹腔鏡		1	0	医師
1月7日 16時～19時	教育研究開発センター	和医大臨床技能サークル	プロジェクト、マイク&スピーカー		20	5	学生
1月8日 16時～9日 23時	泌尿器科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		1	0	医師
1月9日 13時～16時	放射線科	医学技能の向上	心音聴診シミュレーター、肺音聴診シミュレーター		1	0	医師
1月9日 17時30分～19時	7階東病棟	新人技術指導	ナーシングアン1体、男性導尿シミュレーター-2台	有	4	0	看護師
1月10日 15時～18時30分	看護部	研修	レサシアン7体、AEDトレーナー7台		36	4	看護師
1月11日 13時30分～15時	泌尿器科	学生指導セミナー	ダヴィンチトレーナー		5	0	医師
1月11日 17時～13日 20時	救急集中治療部	ACLS研修	レサシアン6体、AEDトレーナー6台、ハートシム、除細動機、モニター、バックバルブマスク4個		10	6	医師
1月15日 11時～16時30分	12階西病棟	看護技術ビデオ作成	静脈採血シミュレーター“シンジョー”1台、手背静脈注射シミュレーター	有	5	0	看護師
1月16日 12時～18日 17時	5階東病棟	勉強会	ハートシム	有	8	0	看護師
1月16日 14時～15時30分	教育研究開発センター	和歌山SPの会			7	21	一般来訪者
1月17日 17時～21時	6階西病棟	新人教育	レサシアン1体、AEDトレーナー1台、除細動機		6	0	看護師
1月17日 12時～30日 17時	NIGU	トレーニング	静脈採血シミュレーター“シンジョー”1台	有	2	0	看護師
1月19日 9時～15時	第二外科	腹腔鏡トレーニング	腹腔鏡シミュレーター“Promis”、腹腔鏡		1	0	医師
1月21日 17時～19時	7階西病棟	BLSデモストレーション	ハートシム	有	8	0	看護師
1月21日 17時～24日 17時	10階東病棟	勉強会	レサシアン1体、バックバルブマスク1個、挿管セット	有	10	0	看護師
1月21日 16時～30日 17時	卒後臨床研修センター	縫合の練習	縫合用模擬皮膚、持針器、はさみ	有	1	0	医師
1月23日 8時～18時30分	看護部	研修	ECS救急ケアシミュレーター、除細動機、モニター、救急カート、シリンジポンプ、輸液ポンプ		40	1	看護師
1月23日 13時30分～17時	医学部5年生	BLSのテキスト作成	ベビーアン1体	有	3	0	学生
1月24日 16時～18時30分	泌尿器科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		1	0	医師
1月25日 9時～29日 13時	看護部	復職支援研修	静脈採血シミュレーター“シンジョー”	有	2	0	看護師
1月25日 12時～17時	10階東病棟	勉強会	レサシアン1体、挿管セット	有	10	0	看護師
1月25日 13時～15時	泌尿器科	学生指導	ダヴィンチトレーナー		5	0	医師
1月25日 17時～27日 18時	医療安全推進部	ACLS講習会	SimMa3G、ハートシム、レサシアン6体、ベビーアン7体、AEDトレーナー6台、プロジェクト		15	10	医師
1月28日 16時～17時	卒後臨床研修センター	練習	大腸内視鏡シミュレーター、内視鏡		1	0	医師
1月29日 10時～15時	和歌山病院	新人看護職員の技術研修	ハートシム、気道管理トレーナー、レサシアン1体、AEDトレーナー、肺音聴診シミュレーター“Mr.Lung”		7	1	看護師
1月29日 12時～31日 17時	卒後臨床研修センター	縫合の練習	縫合用模擬皮膚、持針器、はさみ	有	2	0	医師
1月29日 17時30分～21時	8階西病棟	急患時対応	ハートシム、モニター、救急カート、除細動機		20	0	看護師
1月30日 15時～18時	看護部	研修	ナーシングアン3体		30	0	看護師
1月31日 16時～20時	5階西病棟	勉強会	ハートシム、気道管理トレーナー、除細動機、モニター、救急カート		3	0	看護師

使用申請件数(1月) 32件 269人 48人 317人

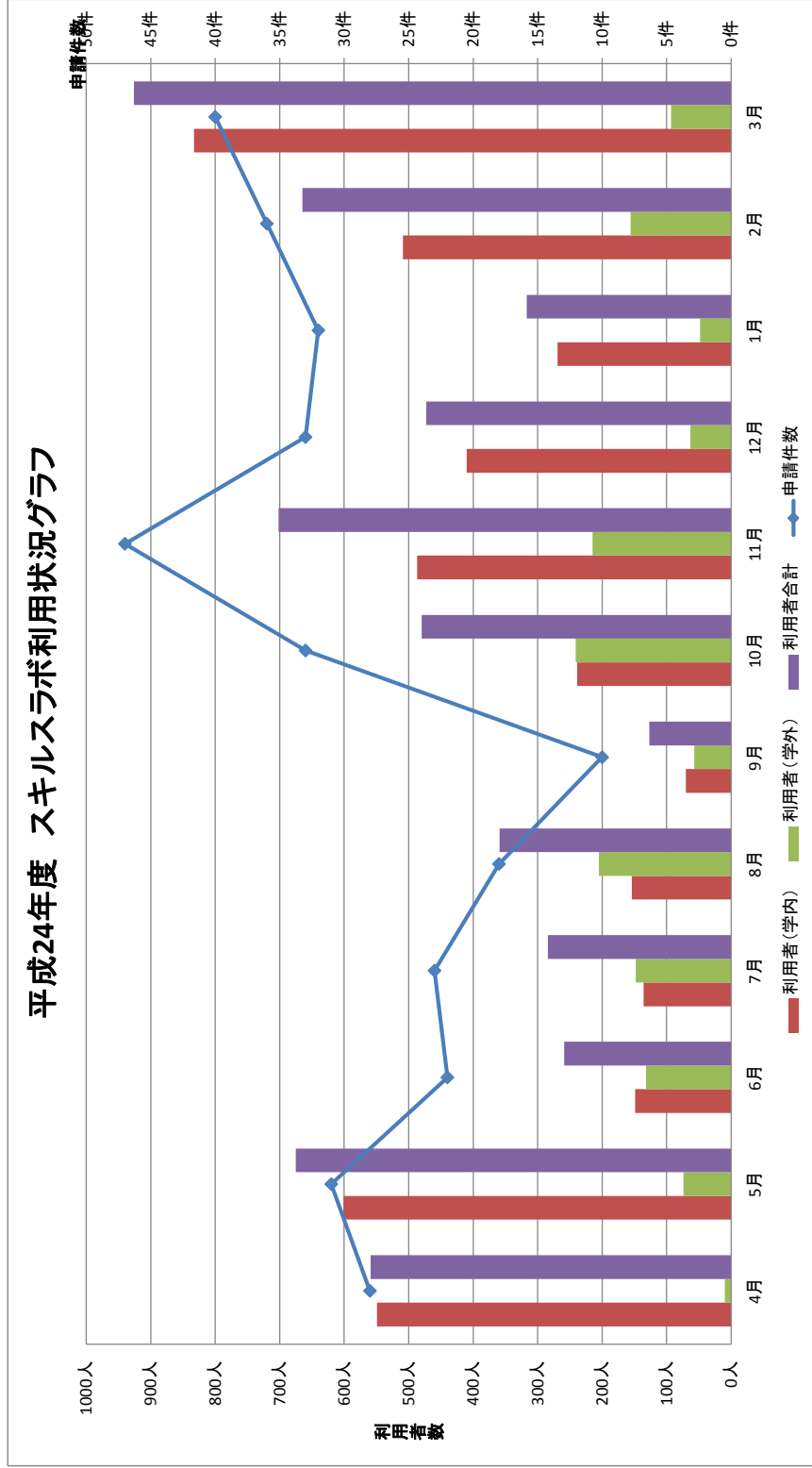
平成24年度 スキルストラボ利用実績一覧

使用期間	使用団体名	使用の目的	使用物品	持出	使用者数		主たる使用者の職名
					使用者の内訳 字内	計 字外	
2月1日 13時～4日 17時	麻酔科	トレーニング	手背脈注射シミュレーター、動脈穿刺シミュレーター	有	4	0	4 医師
2月2日 11時30分～19時	総合周産期母子医療センター	新生児蘇生法講習会	新生児人形3体、新生児挿管人形3台、吸引器4台		15	0	15 医師
2月3日 12時～24時	第二外科	手術手技修練	腹腔鏡シミュレーター“Promis”、腹腔鏡		1	0	1 医師
2月4日 12時～3月4日 17時	卒後臨床研修センター	縫合の練習	縫合用模擬皮膚、持針器、はさみ	有	1	0	1 医師
2月4日 16時30分～19時	5階西病棟	ACLSの練習	気道管理トレーナー、ハートシム、除細動機、挿管セット、バックハルブマスク1個	有	10	0	10 看護師
2月4日 17時～14日 17時	7階東病棟	練習	静脈採血シミュレーター“シンジョー”	有	4	0	4 看護師
2月5日 14時30分～15時	教育研究開発センター	新規設置物品の説明会	ナーシングアン、SimPad		15	1	16 看護師
2月5日 18時～23時	卒後臨床研修センター	内視鏡の練習	内視鏡シミュレーター		1	0	1 医師
2月6日 13時～16時	教育研究開発センター	和歌山SPの会			6	20	26 一般来訪者
2月6日 16時～19時30分	看護部	クリティカル研修	ハートシム、ナーシングアン1体、SimPad、救急カート、除細動機、スクリーン、プロジェクター		20	0	20 看護師
2月7日 12時～12日 17時	CCU	静脈留置針の実技テスト	静脈採血シミュレーター“シンジョー”	有	3	0	3 看護師
2月7日 18時～23時	第二外科	手術手技修練	腹腔鏡シミュレーター“Promis”、腹腔鏡		1	0	1 医師
2月12日 9時～15日 12時	CCU	BLSの練習	ハートシム、バックハルブマスク	有	2	0	2 看護師
2月12日 14時～13日 17時	10階東病棟	静脈留置針挿入演習	静脈採血シミュレーター“シンジョー”	有	3	0	3 看護師
2月12日 14時30分～15時	教育研究開発センター	新規設置物品の説明会	ナーシングアン、SimPad		15	1	16 看護師
2月13日 11時～13時	泌尿器科	講義	タウインチトレーナー		4	0	4 医師
2月13日 12時～13時	卒後臨床研修センター	手技練習	CVC穿刺シミュレーター、エコー		1	0	1 医師
2月13日 13時～14時	卒後臨床研修センター	内視鏡の練習	内視鏡シミュレーター“アキュタッチ”		2	0	2 医師
2月13日 15時～18時30分	看護部	研修	レザリアン1体、AEDトレーナー7台、マット枚		36	4	40 看護師
2月14日 9時～15日 17時	12階東病棟	静脈留置針穿刺トレーナー育成	静脈採血シミュレーター“シンジョー”	有	4	0	4 看護師
2月14日 16時～20時	11階東病棟	BLS・ACLS演習	レザリアン、バックハルブマスク、モニター、吸引器、挿管セット		4	0	4 看護師
2月14日 17時～19時	教育研究開発センター	和医大臨床技能サークル	SimMan3G		7	0	7 学生
2月14日 20時～26日 17時	11階東病棟	BLS・ACLS演習	レザリアン、バックハルブマスク、モニター、吸引器、挿管セット	有	4	0	4 看護師
2月15日 17時～18日 12時	救急集中治療部	2次心肺蘇生の普及	ハートシム1体、点滴棒4本	有	5	30	35 医師
2月15日 17時30分～20時30分	6階西病棟	新規採用者の技術チェック	ECS、除細動機、気道管理トレーナー、バックハルブマスク		5	0	5 看護師
2月17日 9時～18時	卒後臨床研修センター	BLS講習会	レザリアン8体、AEDトレーナー8台、ベビーアン7体、チャージャー2体		20	20	40 医師
2月19日 12時～26日 12時	6階西病棟	静脈注射の実技練習	静脈採血シミュレーター“シンジョー”	有	5	0	5 看護師
2月20日 17時～17時30分	教育研究開発センター	新規設置物品の説明会	ナーシングアン、SimPad		11	1	12 看護師
2月21日 18時30分～20時	11階東病棟	BLS・ACLS演習	レザリアン、バックハルブマスク		4	0	4 看護師
2月26日 11時～28日 17時	HCU	一次救命処置の指導	ボケットマスク6個	有	2	78	80 医師
2月27日 9時～3月8日 17時	9階西病棟	1年目看護師の指導	皮内注射シミュレーター	有	4	0	4 看護師
2月27日 9時～22時	麻酔科	METI使用方法習得	ECS		2	1	3 医師
2月27日 17時30分～20時	6階西病棟	デモンストレーション	ハートシム、除細動機、気管挿管用品		3	0	3 看護師
2月26日 8時50分～16時10分	医学部4年生	臨床実習入門	眼底診察シミュレーター、耳の診察シミュレーター		95	0	95 学生
2月27日 8時50分～16時10分	医学部4年生	臨床実習入門	心音聴診シミュレーター、肺音聴診シミュレーター、乳癌検診モデル		95	0	95 学生
2月28日 8時50分～16時10分	医学部4年生	臨床実習入門	前立腺触診モデル、直腸診シミュレーター、導尿シミュレーター	36件	509人	156人	665人

平成24年度 スキルストラボ利用実績一覧

使用期間	使用団体名	使用の目的	使用物品	持出	使用者数		主たる使用者の職名
					使用の内訳	計	
					字内	字外	
3月1日 8時50分～16時10分	医学部4年生	臨床実習入門	診察台		95	0	学生
3月2日 17時～22時	麻酔科	ECSの使用法講習	ECS		1	0	医師CS
3月2日 17時～22時	産科婦人科	腹腔鏡トレーニング	腹腔鏡シミュレーター“Promis”		1	0	医師
3月4日 8時50分～16時10分	医学部4年生	臨床実習入門	診察台		95	0	学生
3月5日 8時50分～16時10分	医学部4年生	臨床実習入門(自習日)	眼底診察シミュレーター、耳の診察シミュレーター、心音聴診シミュレーター、肺音聴診シミュレーター、乳癌検診モデル、前立腺触診モデル、直腸診シミュレーター、導尿シミュレーター		95	0	学生
3月5日 13時30分～3月12日 17時	9階西病棟	トレーニング	ナーシングアラン	有	5	0	看護師
3月5日 14時～16時	第二内科	内視鏡手技練習	内視鏡シミュレーター“アキュタツチ”		1	0	医師
3月6日 8時50分～16時10分	医学部4年生	臨床実習入門	静脈採血シミュレーター“シンジョー”		95	0	学生
3月6日 19時～24時	産科婦人科	腹腔鏡トレーニング	腹腔鏡シミュレーター“Promis”		1	0	医師
3月17日 8時50分～16時10分	医学部4年生	臨床実習入門	静脈採血シミュレーター“シンジョー”、グリッターバッグ、手洗台		95	0	学生
3月8日 8時50分～16時10分	医学部4年生	臨床実習入門(自習日)	眼底診察シミュレーター、耳の診察シミュレーター、心音聴診シミュレーター、肺音聴診シミュレーター、乳癌検診モデル、前立腺触診モデル、直腸診シミュレーター、導尿シミュレーター、静脈採血シミュレーター“シンジョー”		95	0	学生
3月8日 13時～15時	卒後臨床研修センター	手技練習	エコー		2	0	医師
3月8日 17時～11日 9時	泌尿器科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		1	0	医師
3月11日 8時50分～16時10分	医学部4年生	臨床実習入門	レザシアン12体、AEDトレーナー12台		95	0	学生
3月12日 12時～18日 17時	8階東病棟	練習	ハートシム、挿管セット	有	5	0	看護師
3月12日 14時～16時	第二内科	研修医の教育	内視鏡シミュレーター		3	0	医師
3月14日 9時～23時	第二外科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		3	2	医師
3月14日 10時～15日 10時30分	医療安全推進部	院内職員向けBLS講習用教材作成	レザシアン11体、AEDトレーナー1台、マット1枚、ポケットマスク1	有	6	0	医師
3月14日 14時～15時	卒後臨床研修センター	練習	内視鏡シミュレーター“アキュタツチ”		1	0	医師
3月14日 14時20分～15時40分	泌尿器科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		2	0	医師
3月15日 9時～23時	第二外科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		3	2	医師
3月15日 9時～16時	脳死下臓器提供シミュレーションWG	脳死下臓器提供シミュレーション	ベッド、リトルジュニア、人工呼吸器、モニター、シリンジポンプ、輸液ポンプ、点滴台	有	50	5	医師
3月15日 14時～19時	救急集中治療部	外傷講習の準備	プロジェクト、スクリーン		2	8	医師
3月15日 12時～16日 12時	医学部4年生	縫合の練習	縫合用模擬皮膚、持針器、はさみ	有	1	0	学生
3月16日 12時30分～14時30分	医学部2年生	バイタルサイン測定の練習	血圧計、聴診器、心音聴診シミュレーター		2	0	看護師
3月18日 9時～23時	第二外科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		3	2	医師
3月19日 9時～23時	第二外科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		3	2	医師
3月20日 9時～17時	第二外科	腹腔鏡トレーニング	腹腔鏡シミュレーター“Promis”		1	0	医師
3月21日 9時～23時	第二外科	ダヴィンチトレーニング	腹腔鏡シミュレーター		3	2	医師
3月22日 13時～15時	泌尿器科	講義	ダヴィンチトレーナー		4	0	医師
3月22日 15時～17時30分	総務課	BLS実技講習会	ダヴィンチトレーナー		4	0	医師
3月22日 16時～25日 10時	和歌山ACLS研究会	心肺蘇生法普及	レザシアン8体、AEDトレーナー8台、マット8枚		40	0	職員
3月25日 9時～23時	第二外科	ダヴィンチトレーニング	ハートシム11体、AEDトレーナー1台、気道管理トレーナー1台	有	3	60	医師
3月25日 17時30分～21時	6階西病棟	AED、気管挿管練習	ダヴィンチトレーナー		3	2	医師
3月26日 9時～23時	第二内科	ダヴィンチトレーニング	ハートシム11体、AEDトレーナー1台、気道管理トレーナー1台		3	0	看護師
3月27日 9時～23時	第二外科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		3	2	医師
3月27日 16時～28日 9時	泌尿器科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		3	2	医師
3月28日 9時～23時	第二外科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		3	2	医師
3月28日 17時～19時	卒後臨床研修センター	ACLS勉強会	ハートシム、除細動機、挿管セット、バックバルブマスク		2	0	医師
3月29日 9時～23時	第二外科	ダヴィンチトレーニング	ダヴィンチトレーナー		3	2	医師
3月30日 9時～18時	日本集団災害医学会セミナー	災害時の対応を学ぶ	BLS用マット8枚	有	5	45	医師
				使用申請件数(3月)	40件	833人	926人
				使用申請件数(累計)	353件	4406人	5826人

平成24年度 スキル斯拉ボ利用状況グラフ



♀

月	申請件数	利用者(学内)	利用者(学外)	利用者合計
4月	28件	549人	10人	559人
5月	31件	601人	74人	675人
6月	22件	149人	132人	281人
7月	23件	136人	148人	284人
8月	18件	154人	205人	359人
9月	10件	70人	57人	127人
10月	33件	239人	241人	480人
11月	47件	487人	215人	702人
12月	33件	410人	63人	473人
1月	32件	269人	48人	317人
2月	36件	509人	156人	665人
3月	40件	833人	93人	926人
年間合計	353件	4406人	1442人	5826人

わりんぎ（和医大臨床技能サークル）の活動

平成 22 年度に教育研究開発センターと学生 BLS サークル合同で、1 年生から 4 年生までを対象にシミュレーターを用いた臨床技能教育を行うサークルを開設しました。放課後にスキルスラボにて勉強会を行いました。

月 1 回 17 時～19 時にスキルスラボにて開講しています。最初に講義を聞いた後、シミュレーターや血圧計などを使用し、実際に手技を行います。

平成 24 年度活動記録

開講日時	内容
4 月 27 日（金）	超音波画像診断
6 月 11 日（月）	血圧測定・気管内挿管
7 月 2 日（月）	血圧測定・静脈採血
9 月 5 日（水）	外科縫合手技
10 月 17 日（水）	胸部エックス線・気道管理
11 月 14 日（水）	胸腔ドレナージ
1 月 7 日（月）	漢方医学
2 月 14 日（木）	A C L S



平成 23 年度より『わりんぎ』に参加した学生に『臨床技能手技認定証』を発行しています。プログラムを受講する毎に認定シールを受け取れます。学習の進捗状況などが分かり好評です。



受講認定証

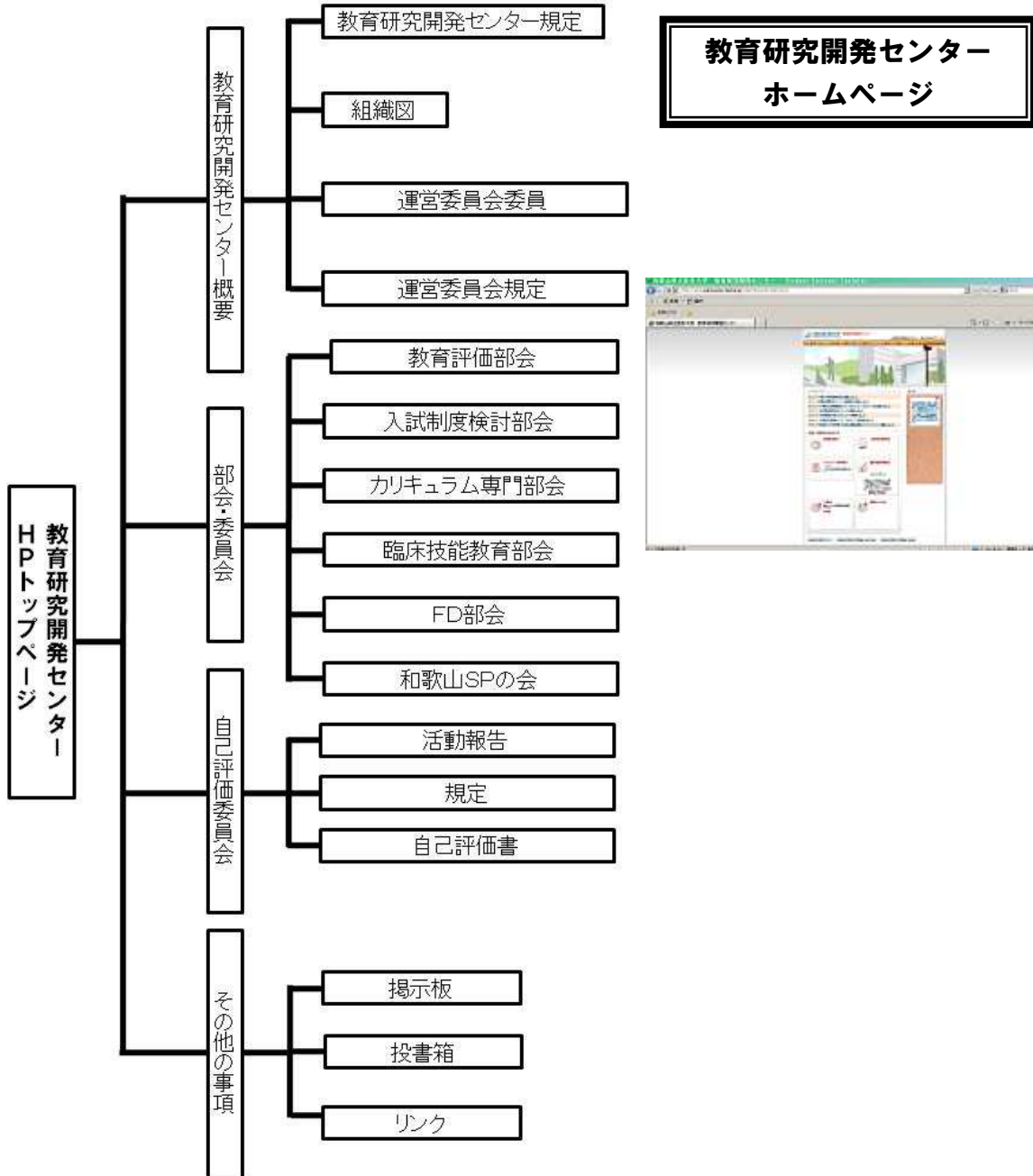


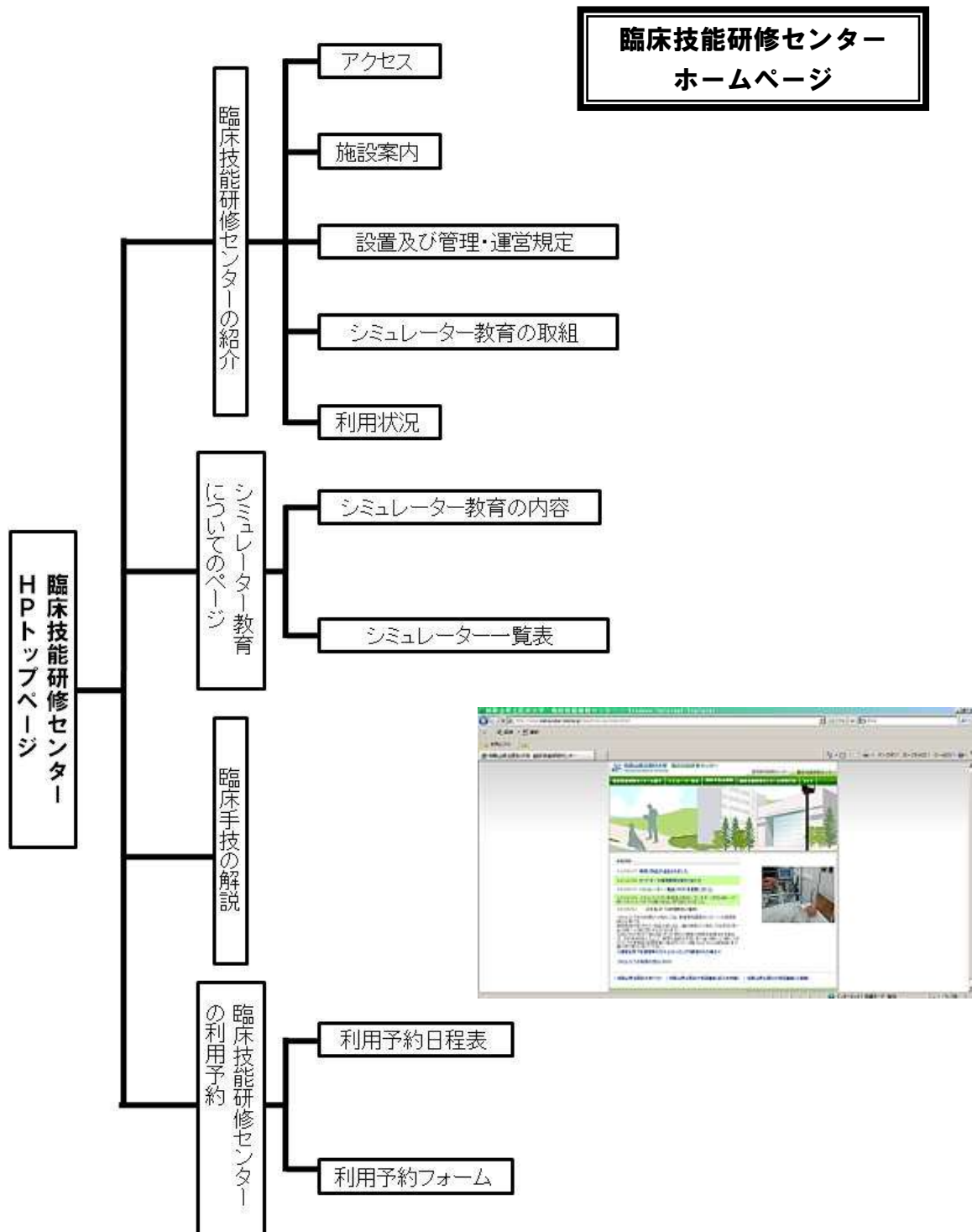
認定シール貼付面

ホームページについて

教育研究開発センターでは下記のホームページの運営、管理を行っています。

- 教育研究開発センターホームページ
- 臨床技能研修センターホームページ
- 大学教育学生支援推進事業【テーマ A】取組紹介ホームページ





平成 25 年 10 月 発行

和歌山県立医科大学 教育研究開発センター

〒641-8509

和歌山市紀三井寺 811 番地 1

電 話 : 073-441-0813(0815)

F A X : 073-441-0814

ホームページ <http://www.wakayama-med.ac.jp/med/develop/index.html>

e - m a i l cerd@wakayama-med.ac.jp